

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 67 年 7 月 16 日

調査者氏名 稲田 武司

佐々木 隆水

28590032

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ジブチ	(現地公用語) MUSIC TEACHER	新規	(男) 1人	年 月 3/2次隊	
	(日本語) (660) 音楽教師	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION

(日本語): 教育部

② 隊員勤務先名称: PRINCE EDWARD SCHOOL

日本語名称(ワキ人エドワード高専学校)

所在地: ムソレ

主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: 中高 (0. ALBA) 併設高で約 1500 名の生徒がいる。

男子校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): ピアノ 5台、フォリス 日本の文化芸術を築くための材料。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 音楽教師

② 技術の範囲: 日本の中学生に教えられる程度の一般的音楽知識と楽器(二種類例 音楽器 打楽器)の奏法指導ができること。

③ 業務の形態: 一週間(月令)30時間程度を、1クラス30名位の生徒に音楽指導を行う。課外活動として、ピアノ以外の楽器を使用した奏法指導を行う。授業時間数、生徒数(奏法指導時)は隊員赴任時に、隊員の意見を参考に決定。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 初めに存在がほとんど、中学生、16、17歳まで。

カウンターパート。

⑤ 現地で利用できる機材: ピアノ(5台)、フォリス(1台)、文化芸術を築くための材料(楽器)の一部。

⑥ 第3国人等の配置状況: 英国、ベルギー、カナダ、スウェーデン

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ジブチは公立校では特に独立後、音楽教育が等閑視されてきたが日本の文化芸術(楽器の供与)の導入に、中学生主体のオーケストラが結成される予定が期待されている。その際に音楽人口の拡大が急務となっている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 音大卒 ② 教員免許保持者(音楽)

③ 異種楽器の指導ができること(弦楽器、打楽器、管楽器のうちの一つ)

※ 事務局記入

143

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

28590035

記入 <sup>昭和</sup> 57 年 7 月 16 日

調査者氏名 稲田 武司  
佐々木 法水

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ジンバブエ	(現地公用語) MUSICAL TEACHER	新規	(男) 1人	年 月 3/2次隊	
	(日本語) (660) 音楽教師	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION

(日本語): 教育相

② 隊員勤務先名称: CHURCH HIGH SCHOOL

日本語名称( ) ( ) 高等学校 )

所在地: ハレ

主要都市( ) から キロ

③ 事業規模及び内容: 教員数 50名, 生徒数 1100名 (うち留学生 25%)

DALBELL (中高校) の教育を行っている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): CD 16台 (オーディオ・レコーダ必要)。音楽室はあるが別の目的に

使われている。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 音楽教師

② 技術の範囲: 日本の中高校生に教えられる程度の音楽の一般的知識と、楽器 (異種楽器、弦楽器、管楽器、打楽器のうち二つ) の実技指導ができること。

③ 業務の形態: 授業時間数、一時間当りの指導生徒数、平日隊員対応時に隊員の意見を参考に決まる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 13歳以上が初心者、年齢 13歳~16歳。

カウンターパートなし。

⑤ 現地で利用できる機材: CD、文化無償提供資料の一部。

⑥ 第3国人等の配置状況: 中国人 1人、インド人 2人、マニラ人

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ジンバブエ公立校では特に独立後、音楽教育が等閑視されることが多いが、日本の文化無償(楽器提供)を機に、中学生主体のオーケストラを結成しようとしている。その為にも音楽人口の拡大が急務となっている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 教員免許保持者(音楽) 又は 異種楽器(弦楽器、管楽器、打楽器のうち二つ) の指導ができること。② 音楽

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3 年 / 月 30 日

調査者名 有木香織  
野田 貴子

要請番号 (364 - 91013)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
ボリビア	(日本語) 音楽 (現地公用語) Música	新規 交替 2 代目	男 人 女 人 不問 / 人	3 年 3 次 絶対の場合 ○印で囲む

1) 勤務先名 文部省 セントロレオナル・デ・エドゥカシオン・ナチオナル・タラベラ校  
(現地公用語) Ministerio de Educacion y Culto / Centro Regional de Educacion "Natalicio Tabvera"

2) 住所 Thompson y Olimpo. Ciudad de Villarrica Dpto. Guairá  
主要都市 (アスンシオン) から 180 km  
交通手段 (バス) で 3 時間

3) 事業内容及び予算 初等部 (6 年制 分校有), 中等部 (3 年制) 高等部 (3 年制) 教員養成部 (2 年制) に事務課, 教育関係センターをもつ総合教育施設。高等部の夜間部と教員養成部以外普通一般教育を行なう 2 部制 (午前・午後) 初等部には幼稚園部が併設されている。生徒数約 1,500 名。予算は文部省より施設維持, 拡充費などを中心におりるが教材費などはほぼ獲得済み

1) 要請理由 (目的) ここは首都を上回る芸術・文化水準があるが, 当地は, 今や昔の語彙であるが, 独自の文化水準を保ち, 公立の教育レベルに景況を与える程は持たず, 比較的設備の整った当校にも, 教員, 生徒のレベルは伸び悩んでいて, 歌唱指導中心に音楽科教育の基礎固めの必要がある。

2) 隊員の地位 (日本語) 音楽科教諭 (現地公用語) Profesor de Música

3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 現地人音楽教師 (非常勤) と協力者から授業や行事に関わる音楽活動を通して指導を行なう。課外時間を利用して合唱指導, キーボード等の指導を行なう。当校音楽教師の技術指導。学校長の方針により各部門適宜に指導が行なわれることになる。技術の範囲は, 特に高水準なものは必要でないが, 歌唱 (合唱) 及び教育楽器などの実技指導に関わる技能, 音楽全般の広い知識が必要とする。

4) 隊員が利用, 又は取り扱う機材の機種名・型式, 設備等 (写真添付のこと) 事務棟 1, 普通教室棟 4, 特別教室 (音楽室) 棟 1, 講堂 1, 中庭・グラウンド (100m 先に初等部分校有) 電子キーボード (Casio) 40 台 (プロライト YAMAHA: 音楽室) タブルセトレコーダー 1 台 V7 コーディン (YAMAHA) 50 本, 歌集 (音楽隊員編)

5) カウンターパート (人数, 学歴, 経験, 地位, 年齢) 音楽科教諭 4 名, うち 1 名 (22 才, 女性) は専門教育 (アスンシオン教員養成校卒) を受けていて, 技術水準は十分である。他は 20~30 代の女性。

6) 指導対象者の技術レベル, 年齢 小学校児童 (6~12 才), 中高校生 (13~18 才) 教員養成課程学生 (17~)

7) 訓練すべき言語 (スペイン) 語

8) 外国の援助状況 (含む専門家, ボランティアの配置) 高等部にフランス人講師 1 名。

条件 学歴, 経験, 資格 (音楽科教員免許) 教育学部音楽科 (音大教育科) 卒業 歌唱, 合唱指導経験

生活 生活環境: 気候 (沖縄程度) 乾季 月~ 月 雨季 月~ 月 気温 (2~40℃位) 任地の人口 (5000 人)・日用品: 価格 (高い・普通・安い), 品質 (良い・普通・悪い) 物資 (豊富・普通・欠乏) 冬は寒い。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

配入日 平成3年2月5日

調査者名 渡辺川順子

要請番号 (264-91014)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
パラグアイ	(日本語) 音楽 (職種コード 660) (現地公用語) Música	新規 交替 / 代目	男 人 女 人 不問 / 人	3年2次 絶対の場合 ○印で囲む
配属先概要	1) 勤務先名 文部省 第1518小学校 (現地公用語) Ministerio de Educación y Culto / Escuela Graduada No. 1518			
	2) 住所 (Dpto de Alto Paraná) 主要都市 (シダテルエステ) から 10 km Barrio Santo Domingo, Ciudad de Hernandria 交通手段 (バス) で 30分 待機			
	3) 事業内容及び予算 文部省公立小学校(6年制), 生徒数約400名。午前, 午後の2部制。 予算に関しては, 校長が統轄しており, 場合によっては直接, 文部省へ予算獲得の陳情も行なう。 予算は施設維持費, おおむねを授業費をやりと捻出している状態。			
要請概要	1) 要請理由 (目的) 当国の教育は, 一般の公立校に於いては, 主要教科(国算社)の授業の実施がやむを得ず, 情操教育, 体育面での指導が立ち遅れている。教員養成課程の充実, 現職教員の特別教科再教育などに力を注ぎつつあるが, 現状は特別教科指導は行事等のために, 単発的に行なわれているのがやむを得ず, これまでに当国各地で成果を上げている協力隊員の要請が多く, 隊員の実技指導への期待が大きい。			
	2) 隊員の地位 (日本語) 音楽科教員 (現地公用語) Profesor de Música			
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 小学1年~6年までの各クラスへの音楽科指導。午前(7:00~11:00) 午後(13:00~17:00) 各クラス担任と協力して基礎的なことから, 総合的に音楽の授業を展開する。また, 行事のための合唱指導: 例 他も行ない, 希望者には課外クラブ指導も行なう。小学生への音楽全般の指導となるが, 当初は, 歌唱指導, 基本的なリトミック, ソルフェージュ指導が中心となる。音楽教材は, 皆無の状態の中の授業展開となるので, 限られた条件の中で創意工夫が必要となる。			
	4) 隊員が利用, 又は取り扱う機材の機種名・型式, 設備等 (写真添付のこと) 教室 6 (一部レインカ作り) 教員室, 校庭, 音楽隊員編 スパイン語歌集 (I, II) を副教材として使用可能。電子キーボード, ソフロリコータは現地で購入できる。			
	5) カウンターパート (人数, 学歴, 経験, 地位, 年齢) 各学年の担当教員 (通常全課程を指導) 20~30代 女性, 小学校教諭免許取得者		6) 指導対象者の技術レベル, 年齢 6~12歳の男女児童, 系統たまた音楽指導は受けていない。	
7) 訓練すべき言語 (スペイン) 語				
8) 外国の援助状況 (含む専門家, ボランティアの配置) 無。				
条件	学歴, 経験, 資格 (音楽科教員免許) 教育学部音楽科 (音大教育科) 卒業 歌唱能力, 合唱指導経験			
生活	生活環境: 気候 (詳細程度) 乾季 月~ 月 雨季 月~ 月。気温 (2~40℃位) 任地の人口 (5000人)・日用品: 価格 (高い・普通・安い), 品質 (良い・普通・悪い) 物資 (豊富・普通) 欠乏			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~平成~~ 3年1月9日

調査者氏名 野口滋広  
宮城 幸七郎

0091025

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
バングラデシュ	(現地公用語) Mechanical Drafting (日本語) <del>機械製図</del> 図学	<del>新規</del> 替	(男) / 人 (女) 人 (男女不詳) 人	3年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bureau of Manpower, Employment and Training (日本語): 職業訓練局					
② 隊員勤務先名称: Technical Training Center, Mirpur 日本語名称(職業訓練所) 所在地: Dhaka 主要都市(ダッカ市内)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 2年制職業訓練所で、ラジオTV、冷凍機器等コースがあり、生徒数は各コース1、2年合わせて、20~70名程度。9ヶ月間訓練所で訓練を受けた後、3ヶ月間の工場実習がある。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室、実習室、事務室、生徒寮、職員住宅。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師(4-F, インストラクター)と同格。					
② 技術の範囲: 機械製図一般、基礎図法(平面図法、立体図法、透視図法等)を充分に指導できる能力が必要。					
③ 業務の形態: バングラデシュ人教師と共に、講義、実習を行なう 勤務時間 AM 7:30 - PM 2:00					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は16~20才、中高卒程度 カウンターパートは職業訓練所卒あるいは工業専門学校卒					
⑤ 現地で利用できる機材: 製図台(ドクター、製図板、丁定規)、製図用具一式 各15セット有り。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。(JOCV、機械製図、電子機器a2名)					
⑦ 使用する言語: ベンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高専卒以上 工学卒(機械工学科)、教職経験あればなお良い。 経験3年前後					
※ 事務局記入					

148.

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3 年 2 月 15 日

調査者名 宮城 幸雄

要請番号 (001-91026)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
バングラデシュ	(日本語) 機械製図 (工学) (職種コード 680) (現地公用語) Mechanical Drafting	新規 交替 6 代目	男 1 人 女 人 不問 人	3 年 2 次 絶対の場合 ○印で囲む
配属先概要	1) 勤務先名 人自資源雇用訓練局, 技術訓練センター (現地公用語) Bureau of Manpower, Employment and Training, Technical Training Center			
	2) 住所 下. T. C. 主要都市 (44700 市内) から km P. O. Nasirabad, Chittagong. 交通手段 ( ) で 時間			
要請概要	3) 事業内容及び予算 2 年制職業訓練センターで機械製図の他、建築製図、自動車整備、ラジオテレビ、電気工事、工作機械、溶接などのコースあり。1 学年 1772 50 名程度 9 ヶ月間の訓練後、3 ヶ月間の工場実習がある。			
	1) 要請理由 (目的) 配属先、技術訓練センターの校長は、過去の隊員の技術力を非常に評価しており、生徒の為に、各インストラクターレベルアップを隊員に期待している。			
要請概要	2) 隊員の地位 (日本語) 教師 (講師) (現地公用語) シニアインストラクター			
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 午前 7:30 ~ 午後 2:00 まで、1772 の講義実習を担当する。平面図法、立体図法、透視図法等の基礎図法の指導。機械製図一般の基礎図法が充分に指導できることが必要。			
要請概要	4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) 製図台 (ドクター、製図板、丁字規)、製図用具一式			
	5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) 職業訓練センター卒、又は工専門学校 (高専) 卒。30 代。シニアインストラクター		6) 指導対象者の技術レベル、年齢 生徒は 16 ~ 20 才の中高卒程度	
要請概要	7) 訓練すべき言語 (バングラ) 語			
	8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) なし。			
条件	学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入) 経験がある。			
生活	生活環境: 気候 (熱帯モンスーン 乾季 10 月 ~ 2 月 雨季 5 月 ~ 9 月) ・気温 (10 ~ 35 °C 位) 任地の人口 (300 万人) ・日用品: 価格 (高い・普通・安い)、品質 (良い・普通・悪い) 物資 (豊富・普通・欠乏)			

149

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2年 3月 11日

調査者氏名 瀧下良信

01390028

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 日本語教師	新規	(男) 人	3年 / 月	
	(日本語) 日本語教師	交替	(女) 人		
			(男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 黑龙江省科学技术委员会					
(日本語): 黑龙江省科学技术委员会					
② 隊員勤務先名称: 哈尔滨建筑工程学院					
所在地: 黑龙江省哈尔滨市					
③ 事業規模及び内容: 当学院の前身は哈尔滨工业大学土木学部(1920年設立)1959年当学院が哈尔滨工大から分離、設立された。学生数約3500名(本科生3000名、修工、博士500名)教師459名(35教授41名、副教授192名)本科生1、2年BUI-修工1年と日本語を学ぶ。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 本学は市中心地にあるが、現在郊外に校舎を建設中。(一部完成)1995年全学完成時には学生数6000名の予定。日本語の指導は1995年にできた管理幹部培训中心で行う。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 日本語教師					
② 技術の範囲: 会話及びヒアリングの指導					
③ 業務の形態: 同学院の教師、大学院生など20~30名を対象に 週12~16時間程度 会話、ヒアリングの指導を行う。					
教師はそれぞれ仕事を持っており、日本語の指導は午後か夜に行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 今と3隊員に授業を任せ、カウンターパートは任かない予定である。					
⑤ 現地で利用できる機材: テーブルコーダー、ビデオ、コピー、スライド					
テキストは未定(中級程度の会話のテキストは、中国にはないので日本で採択する方がよいと思われる)。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 英語教師としてアメリカ人(4名)が教員関係から派遣されている。					
⑦ 使用する言語: 中国語 (日本語教師1名(平成3年1月帰国済))					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当学院は早大、慶大、東京工大と姉妹校であり、既に1980年代には多くの日本人が学んでいたため、日本との学術交流が盛んに行われている。1992年3月より開始される予定のJICAによる日中技術交流と日本人専門家の毎年5名(長期2、短期3名)技術指導のため、招聘されることになっている。5~60代の教授の中にはかなり流暢な日本語を話す人がいるが、今後、若手教師の日本語能力向上が望まれる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○(大学卒業以上)日本語教授法履修者					
経験1年以上					
※ 事務局記入 150					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 27 年 7 月 4 日

調査者氏名 丸松 征司

01390/110

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 日本語教師	新規	(男) 人	3 年 7 月	
	(日本語) 69/ 日本語教師	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): 白求恩医科大学  
(日本語): ハクニョウ医科大学

② 隊員勤務先名称: 白求恩医科大学 日本語名称(ハクニョウ医科大学)  
所在地: 中国吉林省长春市新民大街6号 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容:

学生数4500人を中心として中国有数の医科大学といわれる。医学部を中心として、歯学、予防医学、薬学、食品衛生、医学図書館、看護学、各学部をもち、3つの付属病院

④ 設備概要(写真添付が望ましい) 衛生学校、いくつかの研究施設を有し、教職員5800人。  
長春市の市街地に位置し、本邦、基礎医学部付属病院、旧「瀋陽国」の施設と利用

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 6年制の外国臨床医学部(専攻)に所属する外国語教師。

② 技術の範囲: 初心者から、中級者にかけての日本語教育。対象者は医学士であり、日本語を「目的」として学ぶものは多く、特に、日本からの医療技術導入のための「行政、自然科学の専門知識」

③ 業務の形態: この大学の6年制外国語臨床医学部は、1学年の定員40名、うち2名、高専生2名、英語と学んだ専攻生2名、日本語の専攻生、初心者である。最初1年間は、80%の日本語の習得に努め、2年以降は、専門科目、基礎科目のうち、日本語。対話は2、3年、日本語の授業を行う。各学4カブ-パートの配置で、原則として1人は主に会話と聞き取り、カブ-パートは文法と読解を担当する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

カウンターパートは担当レベルが高い。

⑤ 現地で利用できる機材:

一定揃っている

⑥ 第3国人等の配置状況: 英語教師(1名、日本人教師(日本語訓練センター)

⑦ 使用する言語: 中国語(日本語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昨年はいい、派遣された協力隊員が一定の評價を寄与し今回の追加要請と決定したのである。中国は、医療技術のレベル、アツク急務とされたので、先進国の医療技術に迫るに医療が不可欠であり、受入国は「科学的な日本語能力を有する医療」と養成するに力を入れている。即知性のある、有知能技術者が必要である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒 日本語教育に内訳基礎知識を有すること。  
高校レベル以上教師経験者、自然科学分野の基礎知識を有すること。

151



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 2 年 8 月 7 日

調査者氏名 小松 征司

01390111

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 日語教師	新規	(男) 人	91年8月	
	(日本語) 69/ 日本語教師	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): 甘肃工业大学(電子工学部所属)
- (日本語): 甘肃工业大学(電子工学部所属)
- ② 隊員勤務先名称: 甘肃工业大学外国語教研室 | 日本語名称(甘肃工业大学外国語教研室)
- 所在地: 甘肃省兰州市兰工坪67号 | 主要都市(北京)から1,400キロ
- ③ 事業規模及び内容: 1965年設立。学生数3,000名、教職員1,200名。6学部(機械I、II、建築、電子、電気、工業管理各学部)。研究所(言語、機械製造学各研究所)。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): — 別紙の通り —

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 日本語教師専任
- ② 技術の範囲: 対象は、同工业大学大学院生、学生、教職員等を対象に文法を除く、会話及びアソシエーション等の指導を行う。
- ③ 業務の形態: 中国人教師3名が文法を中心に指導し、協力隊員は、実際の会話及びアソシエーション指導するが、簡単な文法と必要に応じて指導する必要がある。クラス30~40名の規模。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 3名、文法指導問題あり、30~40代。
- ⑤ 現地で利用できる機材: ラジオ、TV、VTR等一応揃っている。
- ⑥ 第3国人等の配置状況: 英語教師と2名米国人。
- ⑦ 使用する言語: 中国語(日本語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同大学以外、以前留学して来た日本人学生が補助的(ヘルパー)に指導していたが、帰国したため空席が2名。大抵、ネイティブスピーカーの要請が必要不可欠と見られ、この度協力隊員の要請を出して来ている背景がある。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○(語学)以上 ○(日本語教授法) 経験2~3年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 昭和 2 年 9 月 8 日  
記入

調査者氏名 上田 一 介

01390112

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 日本語教師	新規	(男) 人	91年8月	
	(日本語) 69/ 日本語教師	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 西北大学					
(日本語): 西北大学					
② 隊員勤務先名称: 西北大学外語系日本語教研究室					
所在地: 陝西省西安市西北大学					
日本語名称(西北大学外国語学部日本語研究室)					
主要都市(西安列車駅)から 6 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1901年に創立された総合大学で、現在学生数7,000名、教授・講師数1,100名、18学部、36専攻課程を有している。外国語学部については別添資料。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添資料。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 外国籍教師。					
② 技術の範囲: 主に会話、作文、日本事情について、初・中級の学生に教える。					
③ 業務の形態: 主に三年制の日本語専攻学生を対象として、一週当り12~14時間の授業を担当する他に教師訓練センターにおいて青年教師(大学時代に第一外国語として日本語を専攻した)に日本語会話の指導を行う。時間には余裕があれば、修士課程の学生の指導も行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 別添資料					
⑤ 現地で利用できる機材: L・L教室、録音室、VTR等の視聴覚機材はほとんどそろっているほか、資料室にも日本語教育関係資料がある。別添資料。					
⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカ人教師が現在5名、外国語学部英語教師として在籍している。					
⑦ 使用する言語: 中国語、日本語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、日本語科は三年制で、また四年制の募集をほめていない。その理由のひとつとして、日本語教師の不足、新しい日本語教材(図書、資料)の不足があげられる。そこで、協力隊員を要請すること、ネイティブスピーカーの教師を確保し、同僚中国人教師の教授技術の向上を計るとともに、四年制日本語科を実現したい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (4年制大学の文学部卒) 日本語、国文学等を専攻している必要はない。また外国人に日本語を教えた経験が2~3年あること。年齢は25~30才程度。					
※ 事務局記入					

152A.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup> 昭和 3 年 1 月 22 日

調査者氏名 上田 一仁

01390122

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 日本語教師	新規 交替	(男) 人	91年12月	
	(日本語) 日本語教師		(女) 人		
		(男女不問) / 人			

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): 北京市科学技术庁委員会

(日本語): 北京市科学技术庁委員会

② 隊員勤務先名称: 北京市海澱区教育局教師研修学校 日本語名称(海澱区教育局教師研修学校)

所在地: 北京市海澱鎮南大街60号

主要都市(北京市内)から

③ 事業規模及び内容: 同校は区教育局に所属し、10学科(物理、数学、政治、経済、文学等)の研究室と視聴覚研究室を備えている。区の学校関係者(特に教師)の研修を行っている生涯教育機関である。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在、新校舎(7階建)を建築中で、内装の整備、機材の搬入がまだ終わっていない。1991年5月に完成予定なのでそれを待って詳細を報告する。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 外国語研究室の日本語教師

② 技術の範囲: 初級(字母より)～中級日本語を総合的に指導できること。

③ 業務の形態: 一週 12～16時間程度、以下の対象者について日本語の指導を行う。

① 日本に研修に行く予定のコンピュータエンジニア

② 区の学校関係機関で既に活躍している中国人日本語教師

どちらも会話、ヒアリングを中心とする。特に②は、フロンティア・アップの意味で行われる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

同研究室の教師2名(大学教授クラス1名、講師クラス1名)

⑤ 現地で利用できる機材:

助

ビデオデッキ、モニターテレビ、レコーダー

⑥ 第3国人等の配置状況: 無

⑦ 使用する言語: 中国語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 視聴覚教育研究室でも協力隊員を募集しており、同研究室と連携して、外国語(特に日本語)教育の刷新とあわせて、日本研修を希望、又は予定している関係者のニーズに応えたい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

大学、経験1年以上、日本語教授法履習者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

91021

記入 平成 3 年 1 月 21 日

調査者氏名 瀧下良信

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 日本語	新規	(男) 人	91年12月	
	(日本語) 日本語	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 桂林市科学技术委员会					
(日本語): 科学技术委员会					
② 隊員勤務先名称: 桂林旅游专科学校 日本語名称(旅行専門学校)					
所在地: 広西壮族自治區桂林市三裏店 445221 主要都市(桂林市内)から一キロ					
③ 事業規模及び内容: 当学校は1985年創立。旅行外語、旅行経営、旅行商品の3部 にバド、ホテル管理など4科があり、総学生数500名、教職員数100名余(助教授 員以上11名講師レベル22名)。旅行都市である桂林市の観光業界への人材育成を創設目的					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): L.L教室3 視聴覚教室1 コンピューターとして いる。図書室1 2170719-室1 一般教室など					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 当学校の日本語教師					
② 技術の範囲: 会話とアリスを中心とした日本語指導。 日本語教授法の指導。					
③ 業務の形態: 現在授業が行なわれているのは旅行外語部日本語が付科の 日本語の a. 本科生172 (1年生25名 3年生27名) 卒業生は大学へ進学又は就職 b. 研修生472 (172 30名程度 市内のホテルや工場から派遣されている) 上記 a b どちらも3年制 隊員は上記 a. の本科生に訂する週12時間 間の授業及び中国人日本語教師に訂する日本語教授法指導(週2時間性)を担当する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は上記(2)-③参照 47は 25~30歳の若年教師 女性2名 男性1名 何れも大学日本語科卒					
⑤ 現地で利用できる機材: L.L教室(30x42畳 2室 48x42畳1室) 設備(テレビビデオを備える) スライド映写機、オーバヘッドプロジェクターなど。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 現在桂林市教育學院で教えている日本人が週1~2度通っている。					
⑦ 使用する言語: 中国語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 桂林市は中国国内でも有数の観光都市であり、日本人 の旅行客も多し。当学校ではガイド等の養成をしているが卒業生は将来外国 人との通商会話を職業とするにも拘らず、本邦の外国人の会話指導を受ける 機会が乏しいので実践力が身に付かない。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (短大卒以上、語学指導経験1ヶ月以上、 日本語教授法履修者)					
154					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

91022

記入 <sup>平成</sup>昭和 3 年 / 月 21 日

調査者氏名 瀧下良信

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
中国	(現地公用語) 日語	新規	(男) 人	91年7月 又は 92年7月	
	(日本語) 日本語	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 桂林市科学技术委员会					
(日本語): 科学技术委员会					
② 隊員勤務先名称: 桂林冶金地质学院 日本語名称(冶金地质学院)					
所在地: 广西壮族自治区桂林市 主要都市(桂林市内)から 10km					
③ 事業規模及び内容: 桂林市 当大学は非鉄金属工業公司下に置かれる地学系専科大学(4年制)である。5学部9学科1研究所があり生徒数2,300名。教授レベル120名、講師レベル300名のスタッフを有す。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 語学教育についてはLL教室2室(48名, 40名)、視聴覚室1室、一般教室の準備はいつでも可能。その他、校内どの教室でもビデオが可能。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 語学教師					
② 技術の範囲: 会話、ビデオを中心とした語学指導					
③ 業務の形態: 隊員の赴任後以下のクラスを編成する予定である。					
1) 1年生に対する第1外国語としての日本語指導クラス 担当1クラス 授業時間8 / 週					
2) 3年生に対する第2外国語としての日本語指導クラス " " 2~4 " / 週					
3) 教師に対する日本語指導クラス " " 2 " / 週					
本科学生クラスは1クラス約30名、教師クラスの人数については未定。現在、本校で日本語教育は行われていない。対象者の殆んどは初級、教師クラスは中級					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は上記(2)-(3)参照。C/Pとして現在外事科公室で働いている莫氏(大学40才前後)が文法を指導する予定。					
⑤ 現地で利用できる機材: LL教室(2)施設、ビデオデッキ、テレビ、コピー機は有すが使用が制限される。教科書は、大学日本語(湖南省出版)を用意する予定。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 現在英語教師として外国人4名各1名がいる。					
⑦ 使用する言語: 中国語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当大学では現在英語(教師20名)、ロシア語(教師3名)の授業が行なわれている。日本への留学生や日本の大学との学術交流も多く行なわれており、日本語教育を開始したい。希望があるにもかかわらず教師が不足、実現しない。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒(できれば理系) 年齢30才前後					
日本語教授法履修者、語学指導経験1年以上					
※ 事務局記入					

155

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

91023

記入 平成 3 年 1 月 29 日

調査者氏名 上田 一仁

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 日語	新規	(男) 人	平成 3 年 9 月	
	(日本語) 191 日本語	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): 沈阳市科学技术委员会

(日本語): 瀋陽市科学技術委員会

② 隊員勤務先名称: 沈陽大学工学院外语系日語班

日本語名称(瀋陽大学工學院)

所在地: 沈陽市大東区聯合路 54 号

主要都市(沈陽)から 10 キロ

③ 事業規模及び内容: 1980年開校 全学生数 2200名 そのうち外語系(英語、日本語、ロシア語)の学生

数は 200名 英語は4年制、日本語は3年制、日本語は現在、3年生の1クラスのみ、1991年6月に卒業

全日未より新1年生(20名)が入学する、日本語班の学年は1年ホキにおこなわれる予定だが確定ではない。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

1) 教室 4室(講義用 2 自習用 2) ビデオ室 資料室(日本語関係の蔵書 2000冊)

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 日本語班専任の日本語教師

② 技術の範囲: 日本語班の学生に対する 精読読、会話の指導

聴解

読解

③ 業務の形態: 1週 20時間の授業のうち、6時間～8時間の会話 精読の授業を担当する。

使用教科書は用意されているが、自分で作った教材の使用も可。貿易、科学技術関係の日本語

を教える時間もあるが、これは中国人教師が担当する。授業はすべて日本語で行う。

学生は全員自宅から通学している。(学生宿舎なし)

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者: 大学1年生 中学・高校ですべてに日本語を

勉強して来ているので文法的知識はあるが会話力が弱い。中国人教師: 4名(内2名は日本への短期研修の経験あり)

⑤ 現地で利用できる機材: 30才～36才 男3名、女3名

LL教室 ビデオ(日本のテレビからのタビングが50本以上ある)

⑥ 第3国人等の配置状況: 英語教師 6名(アメリカ人 5名、カナダ人 1名)

⑦ 使用する言語: 中国語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 昨年、日本人教師が帰国してしま、ため、現在日本人がいらない。

学生は卒業後、企業やホテルなどの通訳として働く者が多いため、日本語の自然な会話や日本の習慣

をよく理解しておく必要がある。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○(大学卒) 貿易、科学技術関係の知識があれば可。

※ 事務局記入

156

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成3年2月4日  
調査者名 山口 廣治

要請番号 (013) - 91024

国名	職名	区分	性別・人数	派遣希望時期
中国	(日本語) 日本語教師 (職種コード 691)	新規 交替 代目	男 人	4年1次 絶対の場合 ○印で囲む
	(現地公用語) 日語教師		女 人 不問 / 人	

配属先概要

1) 勤務先名 安徽省蚌埠高等専門学校  
(現地公用語) 安徽省蚌埠高等专科学校 (Anhui Provincial Bengbu)

2) 住所 安徽省蚌埠市勝利東路曹山街  
主要都市 (蚌埠市) から 0.5 km  
交通手段 (自転車) で 20分 時間

3) 事業内容及び予算 1989年設立業主として全日南高等専門学校として開設、7000m<sup>2</sup>の敷地、12000m<sup>2</sup>の建物、教師100人、学生1080人、食品工学科、機械電子科、経済管理科、基礎科、工芸美術部あり。1994年迄に図書館、実験室、各種設備を完成させた予定。  
経済管理科、基礎科に英語、貿易英語あり。日本語も開設予定。

1) 要請理由 (目的) 90年に外国留学、対外貿易業務の基礎として英語学習と授業に取入れたいが、日本の経済発展、中日交流の将来を考慮する場合、生徒や関係者からせめて日本語の学習を行い、日本に関する理解を深めたいと言ふ事がある。

2) 隊員の地位 (日本語) 日本語教師 (現地公用語) 日語教師

3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲

- ① 一般生徒 40名 (18才~25才) 週4時間
- ② 以前日本語を勉強した、先生達と青年部の日本語 (中級クラス) 30名 (30才代) 週4時間
- ③ 日本語の専修生 40名、週4時間 (最初から)
- ④ 企業の管理取、エンジニア 40名 週2時間 (最初から)

筆合計 週20時間 (50分コマ)を教えているが内容12コマは隊員到着後時間数人数等の調整が必要

4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと)

LL教室 40席 コテオ装置 PAL式 VHS TV (PAL)

5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) 現在無し。着任後話し合ふ事。  
(適当なレベルの人か居ない)

6) 指導対象者の技術レベル、年齢  
高校卒業生 (18才~25才) 先生 青年 (30才代)  
企業管理取、エンジニア 30才前後  
学修生 20才前後

7) 訓練すべき言語 (中国) 語

8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置)  
現在何もなし。

条件 学歴、経験、資格 業務かハタチの健康な元気の主人。4年生大学卒業以上 経島2年  
(受入に不可欠な条件のみ記入) 対外貿易の知識があればハタチ

生活 生活環境: 気候 (夏季 11月~3月 冬季 4月~10月) ・気温 (-8℃~38℃位)  
任地の人口 (5,000万人) ・日用品: 価格 (高い・普通・安い)、品質 (良い・普通・悪い)  
(市内80万人) 物資 (豊富・普通・欠乏)

157

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

91025

記入 <sup>平成</sup> 昭和 3 年 1 月 29 日

調査者氏名 上田 一仁

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 日本語	新規	(男) 人	平成 3年9月	
	(日本語) 691 日本語	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 安徽省科学技术委员会					
(日本語): 安徽省科学技术委员会					
② 隊員勤務先名称: 安徽省科技培训中心					
所在地: 安徽省合肥市四里河					
日本語名称(安徽省科技訓練センター)					
主要都市(合肥市)から 3 キロ					
③ 事業規模及び内容: 1978年に設立。省内の企業や研究機関における管理者の養成、外国語(日、英、独、仏)研修者の養成を目的としている。職員数30名。日語班以外は不定期に開校され、1ヶ月～1年の期間で研修を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
語学教室(2)、LL教室 ビデオ(マルチタフ)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 日本語コースの日本語教師					
② 技術の範囲: 日本語研修コースの研修員に対する、会話、聴解、作文指導					
③ 業務の形態: 初級コースのみの開校ならば、2人の中国人教師と共に、会話、発音指導を週12～15時間担当する。中級コースが開校されれば、隊員は1人で会話、精読、聴解、作文のすべてを担当しなければならない。週18時間。学生数は、初級20名、中級10名程度。1コース8ヶ月。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:(対象者) 初級: 日本語学習歴なし、18才～35才 中級: 1年以上の学習者、20才～35才(中国人日本語教師) 女1名 40才 男1名 60才					
⑤ 現地で利用できる機材:					
LL教室、テープレコーダー、ビデオ					
教材は日本語I、II、III、東京外国語大学、生活日本語、文部省・ニューズで学ぶ日本語、JICAの日本語教材					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 中国語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 合肥市は久爾貝市と姉妹都市となっているほか、高知市とも交流があり、日本との貿易技術交流に期待している。また、横濱市に毎年2人の研修生を1年間送っている。こうした仕事につく通訳、文書の翻訳者の養成のため、当培训中心日本語班が設置された。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○(大学卒) 日本語教授法履習者					
※ 事務局記入					

158



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

要請番号 (019 - 9003<sup>4</sup>)

記入日 平成 3 年 3 月 20 日  
調査者名 泉 廣 幸 介

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
インドネシア共和国	(日本語) 日本語教師 (職種コード69) (現地公用語) Guru Bahasa Jepang	新規交替 初代目	男 1人 女 1人 不問 1人	年次 絶対の場合 ○印で囲む
配属先概要	1) 勤務先名 <u>マナド教育大学 文芸学部</u> (現地公用語) <u>Institute Keguruan Ilmu Pendidikan (IKIP) Manado,</u>			
	2) 住所(現任地) (Fakultas Pendidikan Bahasa Dan Seni) 主要都市 (マナド) から <u>km</u> <u>Jl. Yusup Hasir, Kampus Klsak, F.PBS-IMP, MANADO</u> 近距離 ( ) で <u>時間</u>			
	3) 事業内容及び予算 <u>マナド教育大学は1955年に設立。学生数5000名、教員数1000名が</u> <u>故に教育と養成の目的を以て大学として、文芸学部、教育学部、理学部、工学部、体育学部、経済学部</u> <u>の6学部、文芸学部内、外国語学科、日本語学科、音楽科、芸術学科よりなり、また日本語</u> <u>学科、日本語講座に所属して(教員15名、学生70名)、F.PBSは92年トクノハに移転予定。</u>			
要請概要	1) 要請理由 (目的) <u>日本語教師を1人から7名に日本語を指導するに必要、教員と</u> <u>一緒に日本語教授法の改善を行うこと。</u>			
	2) 隊員の地位 (日本語) <u>日本語講師</u> (現地公用語) <u>Lectur Bahasa Jepang</u>			
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 <u>Diploma 2-1 (3年制)の学生70人 (1992.20) に対し2時間1校を週6コマ授業、</u> <u>又、教員と一緒に各語文法、消遣、表現などの日本語研究、教材研究を行</u> <u>おうことに、教授法の研究を行う。</u>			
	4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) <u>教科書、辞書、黒板、日本製のビデオ、1~2年ほど使用。</u>			
要件	5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) <u>日本語講座副長 (100名 IKIP 日本語科年)</u> <u>日本語講座長 (マナド IKIP 年)</u>		6) 指導対象者の技術レベル、年齢 <u>学生 17~20才。</u>	
	7) 訓練すべき言語 (日本語) 語			
8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) <u>1980年より8年間文芸系集音所が派遣されてい</u>				
条件	学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入) <u>日本語教授法</u>			
生活	生活環境: 気候 ( 乾季 5月~10月 雨季 11月~4月 ) ・気温 ( 30 °C位 ) 任地の人口 ( 10万人 ) ・日用品: 価格 ( 高い・普通・安い )、品質 ( 良い・普通・悪い ) 物資 ( 豊富・普通・欠乏 )			

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 2 年 2 月 20 日

調査者名 夏海 香江

要請番号 ( 019 - 90035 )

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
インドネシア	(日本語) 日本語教師 (職種コード 691) (現地公用語) Guru Bahasa Jepang	新規 交換 2代目	男 人 女 人 不問 / 人	年 次 絶対の場合 ○印で囲む
配属先概要				
1) 勤務先名 <u>パジャジャラン大学 文理学部 日本語学科 日本語センター</u> (現地公用語) Universitas Padjadjaran, Fakultas Sastra				
2) 住所 <u>Jl. Bandung - Samedang KM-21, Jatinangor, Jawa-Barat</u> 主要都市 (バンドン) から 21 km 交通手段 (バス) で 40分 時間				
3) 事業内容及び予算 <u>パジャジャラン大学 11 学部、学生総数 13000 名の国立総合大学。</u> <u>日本語学科は 1967 年開設され、約 120 名の学生が日本語を学んでいる。1987 年現在、</u> <u>日本政府の援助により、日本語センターが建てられ、コンピュータ、教材作成用ソフトウェア</u> <u>などの学習資料も、6 教室、1 図書室、1 面接室を備えている。</u>				
要請概要				
1) 要請理由 (目的) <u>本センターとして、在籍日本語研修生に Diploma 卒業への日本語指導と、日本語センターの有効活用と目指して、教材開発、教授法の教師達へのサポートを</u>				
2) 隊員の地位 (日本語) <u>日本語教師</u> (現地公用語) <u>Guru Bahasa Jepang</u>				
3) 期待される具体的な業務内容及び求められる技術の範囲 ① <u>年 170 名 (3 年制・18 年 2 クラス、1 クラス 90 名) への初級・中級・会話・文法指導</u> ② <u>不定期で行われる日本語の指導研修終了後 (企業) への就職指導 (6 月)</u> ③ <u>本センターのセンター長 2 人の他、教師に對する日本語研修、教材開発、知識の普及、評価等に関するサポート。</u>				
4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) <u>Sony ランゲージラボ、Sony VTR セット、</u> <u>7-70 (東芝 Kippo)、製本機。</u>				
5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) <u>教師陣 70 名、日本長期滞在者</u> <u>からその能力の差は大きい。</u>				
6) 指導対象者の技術レベル、年齢 <u>学生 17~21 才。</u>				
7) 訓練すべき言語 (日本語) 語				
8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) <u>協力隊員 日本語教師 1 名、国際交流基金青年派遣員 1 名</u>				
条件	学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入) <u>日本語教授法</u>			
生活	生活環境: 気候 (乾季 4 月 ~ 10 月 雨季 11 月 ~ 3 月) ・気温 (27 °C 位) 任地の人口 (13 人) ・日用品: 価格 (高い・普通・安い)、品質 (良い・普通・悪い) 物資 (豊富・普通・欠乏)			

160

青年海外協力隊派遣

受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3年 2月11日

調査者名 駒沢 彰夫 (駐)

要請番号 ( 031-91-012 )

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
マレーシア	(日本語) 日本語教師 (職種コード 691)	新規	男 人	3年 3次 絶対の場合 O印で囲む
	(現地公用語) Japanese Language Teacher	交替 4代目	女 人 不問 1人	
配属先概要	1)勤務先名 教育省 サルタン・アブドゥル・ハリム中高等学校 (現地公用語) Sekolah Menengar Sultan Abdul Halim			
	2)住所 Sekolah Menengar Sultan Abdul Halim, 主要都市(アロースター)から 15 km 06009 Jitra, Kedah 交通手段(バス)で 0.5 時間			
	3)事業内容及び予算 教育省学校局配属。全国31校ある寄宿舎制中高等学校(13~17才)のうち、日本語講座をもつのは優秀校トップ6校で、本校もその一つ。本校ではForm1~Form4まで200名の生徒が日本語を学んでいる。(’90年現在)基本的には学校予算をもって運営されているが、一部消耗品および出張旅費等、JOCVが負担しているものもある。			
要請概要	1)要請理由 (目的) 1984年、マハイル当国首相の提唱するLook East Policy の一環として、日本から多くのことを学ぶためには若年層から日本語を教育するのが良いとして、派遣が始められた。将来の日本留学ならびに一般教養としての日本語を求めている。			
	2)隊員の地位 (日本語) 日本語教師 (現地公用語) Japanese Language Teacher			
	3)期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 ①勤務時間：(日曜~水曜) 7:45~14:05, (木曜) 7:45~13:25, 金、土曜休日。 一週間合計30コマ(1コマ40分授業)を同僚隊員(1名)と分割して担当する。 ②対象生徒：Form1~Form5。ただしForm5は1学期のみ。各クラス30名程度の生徒数。 ③勤務先校での業務の他に、日本語教師グループとしての業務(会議、勉強会等)がある。 ④技術範囲：日本語の基礎から応用まで教育するが、何よりも大切なのは、日本語教師という以前に一中学校の教師であるということ。			
	4)隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) ①LL教室(40人用・[マルチメディア]付) (平成2年度日本国文化無償援助機材) ’91年4月設置予定 ②CANON日本語ワープロ α350型 1台 (JOCV専用) ③ヒートシベル印刷機 (学校共用機)			
	5)カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) なし。 ①学校内で解決し得る問題については学校長と協議。 ②日本語教育全般に係る問題については教育省担当官と協議する。		6)指導対象者の技術レベル、年齢 ①中学校生徒1~5年生 (13~17才)。 ②日本語学習については全く初心者。	
	7)訓練すべき言語 (マレーシア) 語			
	8)外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) JOCV以外になし。同僚隊員1名。 日本語指導技術上の問題については、マラヤ大学に派遣されている交流基金の専門家からアドバイスを受けることも可。			
	条件	学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入) ①日本語教授法の修得者。 ②外国人を対象とした日本語教授経験1年以上。		
生活	生活環境：気候 (良好) 乾季 3月~10月 雨季 11月~2月・気温 (33℃位) 任地の人口 (1万3千人)・日用品：価格 (高い・普通 安い)、品質 (良い・普通 悪い) 物資 (豊富・普通 欠乏)			

161

①募集資料用

青年海外協力隊派遣

受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3年 2月11日

調査者名 勝俣 祐二 (調)

要請番号 (031-91-013)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
マレーシア	(日本語) 日本語教師 (職種コード 691)	新規	男 人	3年 3次 絶対の場合 〇印で囲む
	(現地公用語) Japanese Language Teacher	交替 4代目	女 1人 不問 人	
配属先概要	1) 勤務先名 教育省 トウン ファティマ中高等学校 (現地公用語) Sekolah Tun Fatimah			
	2) 住所 Sekolah Tun Fatimah, 主要都市(ジョホール バルー) から 10 km Jalan Tun Abdul Razak, 80000 Johor Bahru 交通手段(バス) で 0.5 時間			
	3) 事業内容及び予算 教育省学校局配属。全国31校ある寄宿舎制中高等学校(13~17才)のうち、日本語講座をもつのは優秀校トップ6校で、本校もその一つ。本校ではForm1~Form4まで200名の生徒が日本語を学んでいる。(’90年現在) 基本的には学校予算をもって運営されているが、一部消耗品および出張旅費等、JOCVが負担しているものもある。			
要請概要	1) 要請理由 (目的) 1984年、マハティール当国首相の提唱するLook East Policyの一環として、日本から多くのことを学ぶためには若年層から日本語を教育するのが良いとして、派遣が始められた。将来の日本留学ならびに一般教養としての日本語を求めている。			
	2) 隊員の地位 (日本語) 日本語教師 (現地公用語) Japanese Language Teacher			
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 ①勤務時間：(日曜~木曜) 7:35~13:55, 金、土曜休日。年2学期制。1学年を2クラスに分割し、同僚隊員と各々1週間合計13コマ(1コマ40分)の授業を担当する。 ②対象生徒：Form1~Form5。ただしForm5は短期のみ。各クラス25~30名程度の生徒数。 ③勤務先校での業務の他に、日本語教師グループとしての業務(会議、勉強会等)がある。 ④技術範囲：日本語の基礎から応用まで教育するが、何よりも大切なのは、日本語教師という以前に1中学校の教師であるということ。			
	4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) ①LL教室(40人用・[マルチメディア]付) (平成2年度日本国文化無償援助機材) ’91年4月設置予定 ②CANON日本語ワープロ α200型 1台 (JOCV専用) ③ヒートスタンセル印刷機 (学校共用機)			
	5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) なし。 ①学校内で解決し得る問題については学校長と協議。 ②日本語教育全般に係る問題については教育省担当官と協議する。		6) 指導対象者の技術レベル、年齢 ①中学校生徒1~5年生(13~17才)。 ②日本語学習については全く初心者。	
	7) 訓練すべき言語 (マレーシア) 語			
	8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) JOCV以外になし。同僚隊員1名。 日本語指導技術上の問題については、マラヤ大学に派遣されている交流基金の専門家からアドバイスを受けることも可。			
	条件	学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入) ①日本語教授法の修得者。 ②外国人を対象とした日本語教授経験1年以上。		
生活	生活環境：気候(良好) 乾季 3月~10月 雨季 11月~2月・気温(33℃位) 任地の人口(1万3千人)・日用品：価格(高い・普通・安い)、品質(良い・普通・悪い) 物資(豊富・普通・欠乏)			

162.

①募集資料用

青年海外協力隊派遣

受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3年 2月 28日

調査者名 勝俣 祐二 (調)

要請番号 ( 031-91-015 )

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
マレーシア	(日本語) 日本語教師 (職種コード 691)	新規 交替 4代目	男 人	3年 3次 絶対の場合 ○印で囲む
	(現地公用語) Japanese Language Teacher		女 1人 不問 人	
配属先概要	1)勤務先名 教育省 アラム・シャー中高等学校 (現地公用語) Sekolah Alam Shah			
	2)住所 Sekolah Alam Shah, 主要都市(クアラルンプール) から 8 km Jalan Tenteram, Bandar Tun Abdul Razak, 56000 Kuala Lumpur 交通手段(バス) で 0.5時間			
	3)事業内容及び予算 教育省学校局配属。全国31校ある寄宿舎制中高等学校(13~17才)のうち、日本語講座をもつのは優秀校トップ6校で、本校もその一つ。本校ではForm1~Form4まで約150名の生徒が日本語を学んでいる。( '90年現在) 基本的には学校予算をもって運営されているが、一部消耗品および出張旅費等、JOCVが負担しているものもある。			
要請概要	1)要請理由 (目的) 1984年、マハイル当国首相の提唱するLook East Policyの一環として、日本から多くのことを学ぶためには若年層から日本語を教育するのが良いとして、派遣が始められた。将来の日本留学ならびに一般教養としての日本語を求めている。			
	2)隊員の地位 (日本語) 日本語教師 (現地公用語) Japanese Language Teacher			
	3)期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 ①勤務時間: (月曜~金曜) 7:15~13:50, 土、日曜日。年2学期制。1学年を2クラスに分割し、同僚隊員と各々1週間合計15コマ(1コマ40分)の授業を担当する。 ②対象生徒: Form1~Form4。各クラス20数名程度の生徒数。当校は男子校。 ③勤務先校での業務の他に、日本語教師グループとしての業務(会議、勉強会等)がある。 ④技術範囲: 日本語の基礎から応用まで教育するが、何よりも大切なのは、日本語教師という以前に1中学校の教師であるということ。			
	4)隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) ①LL教室(40人用・[マルチメディア]付) (平成2年度日本国文化無償援助機材) '91年4月設置予定 ②CANON日本語ワープロ α350型 1台 (JOCV専用) ③ヒートアップ印刷機 (学校共用機)			
条件	5)カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) なし。 ①学校内で解決し得る問題については学校長と協議。 ②日本語教育全般に係る問題については教育省担当官と協議する。		6)指導対象者の技術レベル、年齢 ①中学校生徒1~4年生(13~16才)。 ②日本語学習については全く初心者。	
	8)外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) JOCV以外になし。同僚隊員1名。 日本語指導技術上の問題については、マラヤ大学に派遣されている交流基金の専門家からアドバイスを受けることも可。			
生活	生活環境: 気候 (良好) 乾季 3月~10月 雨季 11月~2月) ・気温 (33℃位) 任地の人口 (150万人) ・日用品: 価格 (高い・普通・安い) 、品質 (良い) 普通・悪い 物資 (豊富) 普通・欠乏)			

163

①募集資料用

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平本</sup> 昭和 3年 2月 15日

調査者氏名 井上 和久

058 91006

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) Japanese Language Teacher	新規	(男) 人	3年12月	
	(日本語) 691 日本語教師	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (日本語): 文部省					
② 隊員勤務先名称: Chachoengsao Teachers College 日本語名称(チヤンセンサオ教師養成専門校) 所在地: チヤンセンサオ県 チヤンセンサオ市 主要都市(バンコク)から 60 キロ					
③ 事業規模及び内容: 4年生大学, 4学部, 学生総数1,500名, 教師数180名 日本語選抜コース 学生数120名(2-4年生), L.L教室有り					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 日本語教師					
② 技術の範囲: 会話, ヒアリングを中心とした基礎から応用までの指導, 2~4年生の段階に分けた教科書作り					
③ 業務の形態: (1) 学生(2-4年生)に対する授業(週3回), (2) 授業カリキュラムの整備 (3) 学生のレベルにあった教科書作り (4) カラコンターポート作成 (5) 日本文化紹介					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 女性, 現在, 国際交流基金の支援で日本研修中(2か月研修, 3月帰タイ), 大学卒(電話), 36才					
⑤ 現地で利用できる機材: L.L教室, 市販の日本語教科書					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: タイ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本語ブームの拡大にともない, その定着化が推進 されているが, タイ人の日本語教師育成が速いかなり現状である. 隊員には 生きた会話のみならず日本語の教材, 指導法の開発・整備等も期待されて いる.					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 日本語教授法修得者					
※ 事務局記入					

164

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~日~~ <sup>年</sup> 2年 3月 10日

調査者氏名

松尾 邦 義

(14690003)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア	(現地公用語) Japanese Language	新規	(男) 人	2年 月 日 2年 月 日 で是非	
	(日本語) (691)日本語教師	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Scientific Studies and Research Center (SSRC)  
(日本語): 科学研究所 調査ビル - and Technology
- ② 隊員勤務先名称: HIAST (Higher Institute for Applied Science) 日本語名称 (高等応用科学技術学院)  
所在地: ダマスカス 市内 主要都市 ( ) から キロ
- ③ 事業規模及び内容: HIASTは SSRC内の教育機関として1983年に設立された、特に科学者、技術者、科学教育者養成を目的とした学院(大学レベル or even higher)で、学生数250人。アカデミックレベル(特に数学、自然科学、工学)は非常に高い。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 25人が同時の語学学習出来る 語学学習教室 (L.L.装置, audio-visual aids, head projector 付き)。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: HIAST 付きの 語学教師。
- ② 技術の範囲: 初級、中級レベルの日本語を authorized された メソッドで、科学的に教授する技術、教材作成の技術、カリキュラム作成の技術、教室運営の技術。
- ③ 業務の形態: 週3、4日 1日4時間(午前2時間、午後2時間)の授業の標準になる。対象は基本的に HIASTの学生(18~22才)であり、必要に応じて SSRCの卒業生(JICA卒業生、前日語生、帰国研修生のため「中級」コース、日本文化、日本語の習得の中心を置いている卒業生のためのコース)向けの語学教室も今から開催される。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: なし。

⑤ 現地で利用できる機材: 上記 (1) ④ で述べた設備が利用出来る。

⑥ 第3国人等の配置状況: なし。  
⑦ 使用する言語: 英語、日本語、アラビア語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本語専門委員、国担当、スチーフ、取組別担当への特別のお願い: これ以上望めない程のさちとした受入先で、隊員が業務に専念出来る環境です。しかし一方、今後の当国における日本語教育の方向付けを決めかねる要素としてこの要請は念っており、是非とも特別の御配慮をお願い致します。技術者、人物とも最上質の確保をいたすべく、巧みお願い致します。受入希望の背景と受入国の期待については、次頁の10調査表所見を参照下さい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件は必ず印で囲むこと): 日本語教師の資格、日本語教師としての経験、英語力、4年制大学以上、外人の科学技術者(の理工系の学生)に日本語を教授した経験、教材作成の経験。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 千原 昭和 2年 8月 20日

調査者氏名

藤崎泰昌

32290110

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コスタリカ	(現地公用語) IDIOMA JAPONES (日本語) 691 日本語教師	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	2年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): UNIVERSIDAD NACIONAL (日本語): ナショナル大学					
② 隊員勤務先名称: Escuela de literatura y Ciencias del Lenguaje 所在地: Heredia 日本語名称(言語学科) 主要都市(Heredia)から市内 10km					
③ 事業規模及び内容: 同学科は スペイン語教育、外国語教育、言語学教育の3セクションからなり 教員数 60名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添のとおり					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 言語学科教授					
② 技術の範囲: 言語学科の学生、教員に対し、外国語としての日本語教授					
③ 業務の形態: 教室内で授業を行なう。本大学では日本語教育は初めてで、初年度は週6時間程度(1学年)、毎年上級コースを設けていくことに作る。その他、他学部(工学部)の学生に対して一般外国語としての授業も望まれている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 言語学科学生(60~70人)全員の初心者 言語学科教授 数名、カウンターパートは言語学博士 40名					
⑤ 現地で利用できる機材: ラボラトリー(約20人用)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 3人(1人英語、1人仏語教師)					
⑦ 使用する言語: スペイン語、日本語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 世界の中で日本のプレゼンスが大きくなってきており、それに合わせて日本、日本語に関心が高まっている。その状況を踏まえ、同大学ではスペイン語、英語、仏語に次ぐ第3言語として日本語教育を開始したいという意向をもちている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 日本語教授法 ○ 不詳 ・ 日本語学校にて1年以上の経験あり					
※ 事務局記入					



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成3年1月30日

調査者名 奥村智紀  
後川 順子

要請番号 (364-91015)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
パラグアイ	(日本語) 日本語教師 (職種コード691)	新規 交替 代目	男 人	3年2次 絶対の場合 ○印で囲む
	(現地公用語) Idioma Japonés		女 人 不問 / 人	

**配属先概要**

1) 勤務先名 アスンシオン市役所(日)日友好センター  
(現地公用語)Municipalidad de la Ciudad de Asunción/Centro Paraguayo-Japonés para el Desarrollo de los Recursos Humanos

2) 住所 Barrio Villa Guarany  
Ciudad de Asunción de Ppto de Central 主要都市(アスンシオン市街地)から 6 km  
交通手段(市内バス)で 20分 時間

3) 事業内容及び予算 市営の文化センター(JICA無償資金援助/1988年開所)で、語学(英語、日本語、西語、ポラ  
二語)コンピュータ、生花(含アートワーク)美術、日本文化紹介クラス、体育(柔道、体操、テコンドー、エアロビクス)  
の各コースがあり、一般市民に有料で公開している。予算はアスンシオン市役所が統轄している。

**要請**

1) 要請理由(目的) センター開所から2年半を経過し、語学コースに於いては運営面も軌道にのこしている。我が国には  
距離的に離れた国であるが、日本移住地の影響、時の各方面の高水準により、日本に関心をもち、日本語希望者  
も多い。当センターは当国唯一の一般向け日本語クラスがあり、現在1名の隊員が活動中であるが、受講希望者全に中心  
(これは)満足している。補習を含めたきめ細かい授業、当国に合ったカリキュラム作り、2-1-1育成他多くの課題も存在するため、18名  
増員要請が出された。

2) 隊員の地位 (日本語) 日本語教師 (現地公用語) Profesor de Idioma Japonés

3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 パラグアイ人を対象に1回1時間半の授業を週  
2回(3時間)行ない、約2年で初級が終了できるようカリキュラムを組んでいる。現在クラス約40名の  
学生が日本語を学習している。日本語教育全般に関する知識と技術が必要。また将来的には日本人を対象に  
日本語教師の育成、指導が行なえることが望ましい。

**概要**

4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等(写真添付のこと) 一般教室(7) LL教室、教員室、  
コンピュータ室、体育館、柔道場、エアロビクスルーム、図書室、会議室、展示室、事務所、劇場(1ヶ所)  
喫茶室、LL教室(他の語学クラスと共同使用のため割当時間は1クラス週1回20分)机、椅子、  
文房具、OHP、7-700(乾式)、90(HX)ラジカセ、ビデオ(VHS)日本語に関する教科書及び教材

**要**

5) カウンターパート(人数、学歴、経験、地位、年齢) 無

6) 指導対象者の技術レベル、年齢  
日本語コース受講者の年齢は14歳からとされている。  
(年齢層に幅がある)

7) 訓練すべき言語(スペイン)語

8) 外国の援助状況(含む専門家、ボランティアの配置) 無(協力隊員日本語教師1名)  
国際交流基金より教材援助の可能性有。

**条件**

学歴、経歴、資格 (大学卒) (日本語教師養成コース修了者) 日本語教授経験 2年  
(受入に不可欠な条件のみ記入)

**生活**

生活環境: 気候 (乾燥程度) 乾季 月~ 月 雨季 月~ 月)・気温(2~40℃位)  
任地の人口(40万人)・日用品: 価格(高い・普通・安い)、品質(良い・普通・悪い)  
物資(豊富・普通・欠乏)

①募集資料用

年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 1990年 8月 8日

調査者氏名 前田英男  
副島健治

36790115

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ペルー	(現地公用語) Idioma Japonés (日本語) 691 日本語教師	新規 <b>交替</b>	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	91年5月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Educación (日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: C.E.G.N.E "La Victoria" 日本語名称(ラ・ビクトリア学校) 所在地: Jr. Sáenz Peña No.141, La Victoria 主要都市(Lima)から市内					
③ 事業規模及び内容: 日系の幼稚園(1件) 小学校(1~6年) 中学校(1~5年) である 本年度は約900人の学生をかかえる。非日系の生徒も少しずつ 増えている(10%程度)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): せまい校庭とトリカゴの字型の4階建校舎、幼稚園3クラス 小学、中学各学年2クラス、LL教室あり、視聴覚教室あり。					
(2) 隊員の業務内容 日本語にかかわる全般の仕事(教授法、教材開発、etc 場合によっては代講も)					
① 隊員の業務上の地位: 日本語教育アドバイザー					
② 技術の範囲: 外国語としての日本語教育(対象・幼・小・中学生)、日本語科スタッフへの の種々の協力					
③ 業務の形態: 生徒に日本語を教えるとともに、教材の開発、カリキュラムの改善、などの 業務にあたる。非日本語教育のものからは離れた学校の行事(運動会など) の指導。 日本語教師会からセミナーの講師を依頼されることもある。現在、ウニオン校 の日本語科と中学生用教科書の共同作成中である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 1世--(1名) 2世(1名) 3世--(2名) 技術水準は低くはないが、もっと高めていけると思う。					
⑤ 現地で利用できる機材: ビデオデッキ、OHP、スライド、カセットテープレコーダー LL機材 ワープロ1台					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本語を通じて日本の良いところを学びとらせたいと 考えられている。幼稚園から中学5年まで毎日日本語学習をしているにもかかわらず生 徒はなかなか話せるようにならない。効率の良い日本語教育とそのレベルアップが望 まれている。3代目の隊員となる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○外国語教育としての日本語教育を習得した者。小学校・中学校の指導経験 他の日本語科スタッフをひきよる力					
※ 事務局記入					

168

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3年 2月 6日

調査者名 新田 豊子, 前田 翔

要請番号 (367-91018)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
ペルー	(日本語) 日本語教師(職種コード) (現地公用語) IDIOMA JAPONES	新規 交替 4代目	男 人 女 人 不問 1人	3年2次 絶対の場合 ○印で囲む
配属先概要	1) 勤務先名 ラ・ウニオン総合学校 (配属先: 教育省) (現地公用語) CEGECOOP "LA UNION" (Ministerio de Educación)			
	2) 住所 主要都市 (リマ市内) から km Av. La Mar cuadra 19, Pueblo Libre, Lima 交通手段 ( ) で 時間			
	3) 事業内容及び予算 政府公認私立学校 (小学部6年, 中学部5年) 生徒数 1,400名余りの日系校			
要請概要	1) 要請理由 (目的) 1クラス平均40名のクラスで効果的な授業展開は難しい。 現地教師はほとんど10年以上のベテランばかりで、オールドリルをくり返し、新しい教授法を模索している。ゲーム等を取り入れた活気ある授業を指導できる人を要請する。			
	2) 隊員の地位 (日本語) 日本語科アドバイザー (現地公用語)			
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 現在作成中の教科書を必要に応じて改訂してほしい。L.Lを使った授業 40名教室のマスタロ授業などのような成果をあげることができると検討し、カリキュラム及び教材の改良 教授法の改善を図ってほしい。できれば7-7に指導も期待される			
	4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと)			
要請	5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) 40代~60代の女性4名。10~20年の日本語教授経験をもつ。ほとんどが日本を研修を受けている。すべて常勤講師		6) 指導対象者の技術レベル、年齢	
	7) 訓練すべき言語 (スペイン) 語			
要請	8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) 国際交流基金から毎年講師謝金と教材の援助がある。			
	条件 学歴、経験、資格 日本語教師養成講座を終了した人、 (受入に不可欠な条件のみ記入) 日本語教育経験3年以上			
生活	生活環境: 気候 (海岸砂漠多湿 乾季 月~ 月 雨季 月~ 月)・気温 (15-30℃位) 任地の人口 (700万人)・日用品: 価格 (高い)・普通・安い、品質 (良い・普通・悪い) 物資 (豊富・普通・欠乏)			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

404-91-009-1

記入 昭和平成3年 2月 1日

調査者氏名 木下 史夫  
水野 恵子

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィジー	(現地公用語) Japanese Language (日本語) 691 日本語教師	新規 <b>交替</b>	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	92年 3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Fiji Institute of Technology (FIT)					
(日本語): 教育省 技術訓練学校					
② 隊員勤務先名称: School of Hotel Catering 日本語名称( ホテル従業員養成学校)					
所在地: Suva 主要都市( スパ市内)から キロ					
③ 事業規模及び内容: フィジーの技術系高等教育機関の一つで、ホテル、レストラン、観光産業従事者を養成している学校。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室6、実習用レストラン1、教員室、実習用キッチン2がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Japanese Language Lecturer					
② 技術の範囲: ホテル、レストラン等で日本人観光客とコミュニケーション可能な程度の日本語を教える。					
③ 業務の形態: ホテル経理、給仕係、客室係の各学科の学生約60名に対し、ホテル等で使用される日本語に関し、1クラス週2~3時間、1学期(約3カ月)に約20時間の日本語の授業を担当するほか、日本文化・社会に関して教える。また、フィジー・ホテル協会で企画する現場のホテル職員に対する日本語コースも担当するといった、学校外での活動もある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は高校卒業程度で18~25才程度。ほとんどが初めて日本語を習う。					
⑤ 現地で利用できる機材: 前任隊員が作成した教材や日本語教育関係の参考書					
⑥ 第3国人等の配置状況: 日本語教師としてはいない。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 観光はフィジーの主要産業であり、日本からの観光客受け入れには力を入れているが、英語が話せない観光客が多く、ホテルでのサービス向上の障害となっている。今後、日本語の話せるホテル従業員を増やすことによって観光産業の発展を望む。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 日本語教育を英語で行えるもの。ホテル関係の知識あればなお良い。○短大卒業程度					
※ 事務局記入					

170

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3 年 2 月 / 日

調査者名 倉又雅広

要請番号 (446-91004)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
トンガ王国	(日本語) 日本語教師 (職種コード 691) (現地公用語) Japanese Language	新規 交替 3 代目	男 人 女 人 不問 / 人	3 年 3 次 絶対の場合 ○印で囲む
配 属 先 概 要	1) 勤務先名 教育省 ハツウ高校 (現地公用語) Ministry of Education Vava'u High School			
	2) 住所 Meiafu, Vava'u 主要都市 (ヌアロア) から 270 km 交通手段 (航空機) で 1.5 時間			
	3) 事業内容及び予算 1985年に日本の無償資金協力により建てられた高校であり、Form 1 から Form 6 まで (日本の中学年から高校3年生) 全生徒約 500 名 教師数は年度により違いますが約 30~35 名。予算には教育省で決められるが年毎予算不足という事が現状である。			
	1) 要請理由 (目的) 日本語という語学を教育省は高く評価している。また日本の無償資金協力により建てられた学校として日本への大学留学を目指している。そのためには日本語が必要と考えられており、今年から Form 3 を選択教科として必修にする計画が進められている。その為後任が必要である。			
要 請 概 要	2) 隊員の地位 (日本語) 日本語教師 (現地公用語) Japanese Language Teacher			
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 日本語を中学・高校生に教え、日本語・日本に興味を持たせる。 また、学校方針として大学入試験において日本語での選択をできるようにする。 (検定試験)			
	4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) ビデオ機器、スライド、映写機			
要 件	5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) なし。		6) 指導対象者の技術レベル、年齢 中学年から高校3年生までの生徒	
	7) 訓練すべき言語 ( 英 ) 語			
条 件	8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) イギリス人 1 名 アフリカ人 1 名 (昨年度)			
	学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入) 日本語教育経験者 教職経験者			
生活	生活環境: 気候 ( 乾季 月 ~ 月 雨季 月 ~ 月 ) ・気温 (20~30 °C 位) 任地の人口 (10万 人) ・日用品: 価格 (高い・普通・安い)、品質 (良い・普通・悪い) 物資 (豊富・普通・欠乏)			

171

①募集資料用

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2年 2月 16日

調査者氏名 ケニア 事務所長

(23590007)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	2年 12月	
	(日本語) 理科教科教師 692	交替	(女) 人 (男女不問) 8人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: Harambee Secondary School / 日本語名称(ハランベ-中学校)  
所在地: 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: 生徒数 100名程度(各学年1クラス, Form I~Form IV)  
から 200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にあるところが多い。電気・水道のないところもある

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 教師  
② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから2教科程度を担当する。

③ 業務の形態: 教室型  
月~金曜日まで 20~30時限の授業教を担当  
(1日9時限, 週 45時限, 1コマは40分)  
また体育・課外活動の指導も望まれる場合がある

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は年齢14才~20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な実験器具がそろっているところは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とハランベ-校)と私立校に分類される。隊員が活動するハランベ-校では特に有資格と経験のある理系教員が不足している。隊員の資格・条件は厳しいが、これに見合う隊員であればケニア側も大いに受け入れたいとの意向である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大学(理系学部) ○教員免許 ○教員経験1年以上  
英語力 ○2次隊 or 3次隊

※ 事務局記入

172

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2年 2月 16日

調査者氏名 ケニア 事務所長

(23590008)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	2年 12月	
	(日本語) 理科教科教師 692	交替	(女) 人 (男女不問) 8人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ② 隊員勤務先名称: Harambee Secondary School / 日本語名称(ハランベ-中学校)  
所在地: 主要都市( )から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 生徒数 100名程度(各学年1クラス, Form I~Form IV) から 200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にあるところが多い。電気・水道のないところもある

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教師
- ② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから2教科程度を担当する。
- ③ 業務の形態: 教室型  
月~金曜日まで 20~30時限の授業教を担当。  
(1日9時限, 週45時限, 1コマは40分)  
また体育、課外活動の指導も望まれる場合がある。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は年齢14才~20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な実験器具がそろっているところは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とハランベ-校)と私立校に分類される。隊員が活動するハランベ-校では特に有資格と経験のある理系教員が不足している。隊員の資格・条件は厳しいが、これに見合う隊員であればケニア側も大いに受け入れたいとの意向である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大学(理系学部) ○教員免許 ○教員経験1年以上  
英語力 ○2次隊 or 3次隊

※ 事務局記入

173

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2年 2月 16日

調査者氏名 ケニア 事務所長

( 23590009 )

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	2年 12月	
	(日本語) 理科教科教師 692	交替	(女) 人 (男女不問) 8人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: Harambee Secondary School (日本語名称(ハランベ-中学校))

所在地: 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: 生徒数 100名程度(各学年1クラス, Form I ~ Form II) から 200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にあるところが多い。電気・水道のないところもある

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 教師

② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから2教科程度を担当する。

③ 業務の形態: 教室型

月~全曜日まで 20~30時限の授業教を担当  
(1日9時限, 週45時限, 1コマは40分)  
また体育、課外活動の指導も望まれる場合がある。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は年齢14才~20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な実験器具がそろっているところは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とハランベ-校)と私立校に分類される。隊員が活動するハランベ-校では特に有資格と経歴のある理系教員が不足している。隊員の資格・条件は厳しいが、これに見合う隊員であればケニア側も大いに受け入れたいとの意向である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大学(理系学部) ○教員免許 ○教員経験1年以上  
英語力 ○2次隊 or 3次隊

※ 事務局記入


174



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 8月 13日

調査者氏名

久保田 勉 

申請番号  
2359c101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ② 隊員勤務先名称: Harambee Soc. School 日本語名称 (ハランベ-中学校)  
所在地: 主要都市 ( ) から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 生徒数 100名程度 (各学年 1クラス Form 1~4) から  
200名程度 (各学年 2クラス) の中学校

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にある所が多い。  
電気・水道のない場合もある

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教師
- ② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから  
9教科を担当
- ③ 業務の形態: 教室型  
月~金曜日まで 10~25時限の授業を担当 (40分授業  
1日9時限) また体育・課外活動の指導も望まれる  
場合がある

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象生徒は 14~20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも十分な器具がそろって  
いることは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック (公立校とハランベ-校) と  
私立校に分類される。隊員が活動するハランベ-校では特に資格・経験  
のある理系教員が不足している。隊員は生徒の理系教科のレベルアップ・  
実験室管理として、国家試験対策を期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○理系大学卒 ○教員免許 ○教員経験年以上 ○英語力


※ 事務局記入

175

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 8月 13日

調査者氏名

久保田 勉 

申請番号  
235901102

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ② 隊員勤務先名称: Harambee Sec. School 日本語名称 (ランバー中学校)  
所在地: 主要都市 ( ) から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 生徒数 100名程度 (各学年 1クラス, Form 1~4) から  
200名程度 (各学年 2クラス) の中学校

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にある所が多い。  
電気・水道のない場合もある

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教師
- ② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから  
9教科を担当
- ③ 業務の形態: 教室型  
月～金曜日まで 10～25時限の授業を担当 (40分授業  
1日9時限) また体育・課外活動の指導も望まれる  
場合がある

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は 14～20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも十分な器具がそろって  
いることは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック (公立校とランバー校) と  
私立校に分類される。隊員が活動するランバー校では特に資格・経験  
のある理系教員が不足している。隊員は生徒の理系教科のレベルアップ・  
実験室管理として、国家試験対策を期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):


○理系大学卒, ○教員免許, ○教員経験 年以上, ○英語力

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 8月 13日

調査者氏名

久保田 勉 

申請番号 103  
23590

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ② 隊員勤務先名称: Harambee Sec. School 日本語名称(ハランベ-中学校)  
所在地: 主要都市( )から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 生徒数100名程度(各学年1クラス, Form 1~4)から  
200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にある所が多い。  
電気・水道のない場合もある

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教師
- ② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから  
2教科を担当
- ③ 業務の形態: 教室型  
月~金曜日まで10~25時限の授業を担当(40分授業  
1日9時限) また体育・課外活動の指導も望まれる  
場合がある

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は14~20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な器具がそろって  
いることは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とハランベ-校)と  
私立校に分類される。隊員が活動するハランベ-校では特に資格・経験  
のある理系教員が不足している。隊員は生徒の理系教科のレベルアップ・  
実験室管理として、国家試験対策を期待される。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○理系大学卒 ○教員免許 ○教員経験年以上 ○英語力


※ 事務局記入

177

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 8月 13日

調査者氏名

久保田 勉 

申請番号 23590-104

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: Harambee Sec. School 日本語名称(ハランベ-中学校)  
所在地: 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: 生徒数100名程度(各学年1クラス, Form 1~4)から  
200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にある所が多い。  
電気・水道のない場合もある

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 教師  
② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから  
9教科を担当

③ 業務の形態: 教室型  
月~金曜日まで10~25時限の授業を担当(40分授業  
1日9時限) また体育・課外活動の指導も望まれる  
場合がある

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は14~20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な器具がそろって  
いることは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とハランベ-校)と  
私立校に分類される。隊員が活動するハランベ-校では特に資格・経験  
のある理系教員が不足している。隊員は生徒の理系教科のレベルアップ・  
実験室管理として国家試験対策などを期待される。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○理系大学卒 ○教員免許 ○教員経験年以上 ○英語力

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 8月 13日

調査者氏名

久保田 勉

申請番号 23590, 105

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ② 隊員勤務先名称: Harambee Sec. School 日本語名称(ランバー中学校)  
所在地: 主要都市( )から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 生徒数100名程度(各学年1クラス, Form 1~4)から  
200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にある所が多い。  
電気・水道のない場合もある

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教師
- ② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから  
9教科を担当
- ③ 業務の形態: 教室型  
月~全曜日まで10~25時限の授業を担当(40分授業  
1日9時限) また体育・課外活動の指導も望まれる  
場合がある。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は14~20才位
- ⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な器具がそろって  
いることは少ない。

- ⑥ 第3国人等の配置状況:
- ⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とランバー校)と  
私立校に分類される。隊員が活動するランバー校では特に資格・経験  
のある理系教員が不足している。隊員は生徒の理系教科のレベルアップ・  
実験室管理として国家試験対策を期待される。

- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):  
○理系大学卒, ○教員免許, ○教員経験年以上, ○英語力

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 8月 13日

調査者氏名

久保田 勉

申請番号 23590<sup>106</sup>

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ② 隊員勤務先名称: Harambee Sec. School 日本語名称(ハランベ-中学校)  
所在地: 主要都市( )から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 生徒数100名程度(各学年1クラス, Form 1~4)から  
200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にある所が多い。  
電気・水道のない場合もある

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教師
- ② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから  
2教科を担当
- ③ 業務の形態: 教室型  
月~金曜日まで10~25時限の授業を担当(40分授業  
1日9時限) また体育・課外活動の指導も望まれる  
場合がある

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は14~20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な器具がそろって  
いることは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とハランベ-校)と  
私立校に分類される。隊員が活動するハランベ-校では特に資格・経験  
のある理系教員が不足している。隊員は生徒の理系教科のレベルアップ・  
実験室管理として国家試験対策を期待される。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○理系大学卒 ○教員免許 ○教員経験年以上 ○英語力


※ 事務局記入

180

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 8月 13日

調査者氏名

久保田 勉 

申請番号 107  
23590

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語)	<u>交替</u>	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ② 隊員勤務先名称: Harambee Soc. School 日本語名称(ランベ-中学校)  
所在地: 主要都市( )から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 生徒数100名程度(各学年1クラス, Form 1~4)から  
200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にある所が多い。  
電気・水道のない場合もある

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教師
- ② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから  
2教科を担当
- ③ 業務の形態: 教室型  
月~金曜日まで 10~25時限の授業を担当(40分授業  
1日9時限) 且、体育・課外活動の指導も望まれる  
場合がある

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は14~20才位
- ⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な器具がそろって  
いることは少ない。


- ⑥ 第3国人等の配置状況:
- ⑦ 使用する言語: 英語
- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とランベ-校)と  
私立校に分類される。隊員が活動するランベ-校では特に資格・経験  
のある理系教員が不足している。隊員は生徒の理系教科のレベルアップ・  
実験室管理として、国家試験対策を期待される。

- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):  
理系大学卒、教員免許、教員経験1年以上、英語力

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 8月 13日

調査者氏名

久保田 勉 

申請番号  
23590111

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語)	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省
- ② 隊員勤務先名称: Harambee Soc School 日本語名称(ランバー中学校)  
所在地: 主要都市( )から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 生徒数100名程度(各学年1クラス, Form 1~4)から  
200名程度(各学年2クラス)の中学校

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般的には教師用住居が敷地内にある所が多い。  
電気・水道のない場合もある

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 教師
- ② 技術の範囲: 日本の中学・高校程度の数学・物理・化学・生物のうちから  
9教科を担当
- ③ 業務の形態: 教室型  
月~金曜日まで 10~25時限の授業を担当(40分授業  
1日9時限) また 体育・課外活動の指導も望まれる  
場合がある

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒は14~20才位

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。実験室がある学校でも充分な器具がそろって  
いることは少ない。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの中学校はパブリック(公立校とランバー校)と  
私立校に分類される。隊員が活動するランバー校では特に資格・経験  
のある理系教員が不足している。隊員は生徒の理系教科のレベルアップ・  
実験室管理として、国家試験対策を期待される。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○理系大学卒、○教員免許、○教員経験年以上、○英語力



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2 年 3 月 14 日

調査者氏名 筒井 昇

22  
273-900

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Science Education	新規	(男) 人	2年12月	
	(日本語) 理科教科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 15人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: 南ラ. シンカ. マニラ. カヤタラヤの州					
所在地: 日本語名称( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: セカンド. 27-11は全国で公立私立合わせ 288校. 小学校2年の進学率13~18%, Oレベルだけ教える学校と. Aレベルの学校もある.(Aレベル校約60校). 生徒数は1校約400人ほど.					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 各教科の教師					
② 技術の範囲: 日本の中学校. 高校の内容を教える技術.					
③ 業務の形態: 通常担当教科1科目のみを週24時間(限)教える. 1時限は40分. 2学期制であり. 学期毎の試験問題の作成と成績付けを行なう. 又. 学期毎の休みにふ. 12月学校に出勤し. 次の学期の準備をする義務がある. 又事務所(JOCV)で行なう授業研修訓練. 語学訓練に出席し. 理科教科教師分科会にも. 12月教材の作成を行なう.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: Aレベル: Form 1~4 13才~17才 Aレベル: Form 5, 6: 18才~19才. 同僚の教師は学士又はマニラのマニラ資格					
⑤ 現地で利用できる機材: 公立校に於ける実験設備. 結果は15分程度. 私立校は公立より設備がよくなる.					
⑥ 第3国人等の配置状況: 伊. ドイツ. 11人. フランス. 2人. その他. 1人. 計14人					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立直後. 教育熱の高まりから爆発的な学校増加のため. セカンドの進学率を20%に引き上げる必要があった. 急激な増加は教師の不足と教育内容の低下を招いた. 従って. 1等は取りやめた外国人の教育現場への導入は. 数年は必要で. 最近では積極的に教師不足を外国人にカバーする必要があると見られている. このため. 派遣の中. 科学技術の発達した日本からの理科教科への派遣は. 国の教育の発展に大きく寄与するものと期待されている.					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○大学(理系 又は 教育学部). ○教員免許. 経歴 2年以上. ○25才以上.					
※ 事務局記入					

183

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2 年 3 月 14 日

調査者氏名 筒井 昇

273-900.25

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Science Education	新規	(男) 人	2年12月	
	(日本語) 理科教科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 15人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: フィリピン教育省の州 日本語名称( )  
所在地: 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: フィリピン全国で公立私立合わせ 288校。11学校を2つの進学率  
3~8%、レベル1だけ教える学校と、レベル2の学校がある。(レベル2校約60校)、生徒  
数は1校約400人。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 各教科の教師

② 技術の範囲: 日本の中学校、高校の内容を教える技術。

③ 業務の形態: 通常担当教科1科目のみを週24時間(限)教える。1日限は40分。  
二学期制あり。学期毎の試験問題の作成と成績付けを行なう。又、学期毎の休みに  
おいては学校に出勤し、次の学期の準備をする義務がある。又、事務所(JOCV)へ行ったり  
授業研修訓練、語学講習に出席し、理科教科教師分科会においては教材の作成を行なう。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: レベル: Form 1~4. 13才~17才。  
レベル: Form 5, 6. 18才~19才。同僚の教師は学士又は同等の資格

⑤ 現地で利用できる機材: 公立校には十分な実験設備、器具は十分揃っている。私立校は公立より  
設備が劣る。

⑥ 第3国人等の配置状況: イギリス、ドイツ、フランス、アメリカ、スウェーデン、オランダ、フィンランド

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立直後、教育熱の高まりから爆発的に学数の増加があり、フィリ  
ピンの進学率を20%に引き上げる努力がなされた。急激な増加は教師の不足と教育内容の低下を招く  
こととなった。従って、1970年代には外国人の教育現場への導入は、政府急務とされた。最近では積極  
的に教師不足を外国人でカバーしようとする学勢が見え始めている。このため、国内の中・科学技術の発  
達と共に日本からの理科教科の派遣は国の教育の発展に大きく寄与するものと期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒(理学又は教育学部) ○教員免許、経験2年以上、○25才以上

※ 事務局記入

184

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2年 3月 14日

調査者氏名 筒井 昇

26  
273-900

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Science Education	新規	(男) 人	2年12月	
	(日本語) 理科教科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 15人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: 南ラ. シンカ. マニラ. カタラタラの州					
所在地: 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: セカンド. 27-11は全国で公私立合わせ 288校. 小学校27の進学率 3~8%. Oレベルだけを教える学校と. Aレベルの学校もある.(Aレベル校約60校). 生徒数は1校約400人ほど.					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 各教科の教師					
② 技術の範囲: 日本の中学校. 高校の内容を教える技術.					
③ 業務の形態: 通常担当教科1科目のみを週24時間(限)教える. 1時限は40分. 二学期制あり. 学期毎の試験問題の作成と成績付けを行なう. 又. 学期毎の休みにふ. 12月学校に出勤し. 次の学期の準備をする義務がある. 又事務所(JOCV)で行なう授業研修訓練. 語学講習に出席し. 理科教科教師分科会にも12月教材の作成を行なう.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: Aレベル: Form 1~4. 13才~17才. Aレベル: Form 5, 6. 18才~19才. 同僚の教師は学士又はTEFLの資格					
⑤ 現地で利用できる機材: 公立校に於ける実験設備. 器具は1台1台33.211. 私立校は公立より設備がよい.					
⑥ 第3国人等の配置状況: 伊. ドイツ. 11人の. フィリピン. 2人の. 合計13人の.					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立直後. 教育熱の高まりから爆発的な学数増加となり. セカンドへの進学率を20%に到達する勢いがある. 急激な増加は教師の不足と教育内容の低下を招くこととなる. 従って. 1時限は取リ替のた外国人の教育現場への導入は. 政府急ぎで. 最近では積極的に教師不足を外国人にまかすおそれがある. 従って. 従来の中. 科学技術の発達した日本からの理科教科の派遣は. 国の教育の発展に大きく寄与するものと期待されている.					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○大学(理系)の教育学部. ○教員免許. 経験2年以上. ○25才以上.					
※ 事務局記入					

185

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2年 3月 14日

調査者氏名 筒井 昇

27  
273-900

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Science Education	新規 交替	(男) 人	2年12月	
	(日本語) 理科教科教師		(女) 人 (男女不問) 15人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education					
(日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: フィリピン、ミンダナオ州、ダバオ市の州					
所在地: 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: セカグワ、27-11は全国で公私立合わせ 288校。小学校2からの進学率約 3~8%、レベルを上げて教える学校と、レベルアップの学校がある。(レベル校約60校)、生徒数は/校約400人程度。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 各教科の教師					
② 技術の範囲: 日本の中学校、高校の内容を教える技術。					
③ 業務の形態: 通常担当教科1科目のみを週24時間(限)教える。1時限は40分。二学期制であり、学期毎の試験問題の作成と成績付けを行なう。又、学期毎の休みにフィリピンに出勤し、次の学期の準備をする義務がある。又、事務所(JOV)で行なう授業、研修訓練、語学訓練に出席し、理科教科教師分科会にフィリピンは教材の作成を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ALNIL: Form 1~4 13才~17才 ALNIL: Form 5, 6 18才~19才。同僚の教師は学士又はフィリピン資格					
⑤ 現地で利用できる機材: 公立校に於ける実験設備。器具は皆揃っている。私立校は公立より設備がよくなる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: イギリス、ドイツ、フランス、アメリカ、スウェーデン、オランダ、イタリア					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立直後、教育熱の高まりによる爆発的な進学率増加のため、セカグワへの進学率を20%を越える勢いがある。急激な増加は教師の不足と教育内容の低下を招き、これを防ぐため、従って1時限取りやめた外国人の教育現場への導入は、近年急進的に行なわれ、最近では積極的に教師不足を外国人でカバーしようとする姿勢が見られる。このため、従来の中・科学技術の発達した日本からの理科教科教師の派遣は国の教育の発展に大きく寄与するものとして期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○大卒(理学系又は教育学部)、○教員免許、経験2年以上、○25才以上。					
※ 事務局記入					

186

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2 年 3 月 14 日

調査者氏名 筒井 昇

273-900<sup>28</sup>

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
7-サニ	(現地公用語) Science Education (日本語) 理科教科教師	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 15人	2年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: 9000. 32200. 47000. 70000 の州 日本語名称( ) 所在地: 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: セカンド-27-1118 全国で公立も含め 288校。小学校27の進学率の 3~8%、Oレベルを教える学校と、Aレベルの学校がある。(Aレベル校約60校)、生徒 数は1校約400人程度。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 各教科の教師					
② 技術の範囲: 日本の中学校、高校の内容を教える技術。					
③ 業務の形態: 通常担当教科1科目のみを週24時間(限)教える。1日限は40分。 二学期制あり。学期毎の試験問題の作成と成績付けを行う。又、学期毎の休みに ふじの学校に出勤し、次の学期の準備をする義務がある。又、事務所(JOCV)で 授業研修訓練、結核講習に出席し、理科教科教師分科会にふじの校材の作成を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Aレベル: Form 1~4. 13才~17才。 Aレベル: Form 5, 6. 18才~19才。同僚の教師は学士又は同等の資格					
⑤ 現地で利用できる機材: 公立校に於ける実験設備。器具は1台1台37,211。私立校は公立より 設備がよくなる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 伊予、ドイツ、11100. 70000. 20000. 70000. 70000.					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立直後、教育熱の高まりから爆発的な進学率増加あり。セカンド- 1118の進学率を20%と教える勢いあり。急激な増加は教師の不足と教育内容の低下を招く こととなる。従って、1日1時10分は外国人の教育現場への導入は、教育熱を以て、最近では積極 的に教師不足を外国人にカバーしようとする姿勢が見られる。このため、燃費の中、科学技術の発 達した日本からの理科教科の派遣は国の教育の発展に大きく寄与するとの期待がある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大卒(理科又は教育学部) ○教員免許 経験2年以上。○25才以上。					
※ 事務局記入					

187

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup> 昭和 2 年 3 月 14 日

調査者氏名 筒井 昇

273-900.31

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Science Education	新規	(男) 人	2年/2月	
	(日本語) 理科教科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 15人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: フィリピン教育部の州 日本語名称 ( )  
所在地: 主要都市 ( ) から キロ

③ 事業規模及び内容: フィリピン全国で公立私立合わせ 288校。小学校2つの進学率 3~8%、レベルを上げて教える学校と、レベルアップの学校がある。(レベルアップ校約60校)。生徒数は1校約400人程度。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 各教科の教師

② 技術の範囲: 日本の中学校、高校の内容を教える技術。

③ 業務の形態: 通常担当教科1科目のみ週24時間(限)教える。1時限は40分。二学期制であり、学期毎の試験問題の作成と成績付けを行なう。又、学期末の休みにフィリピンに出勤し、次の学期の準備をする義務がある。又、事務所(TOC)で行なう授業研修訓練、語学訓練に出席。理科教科教師分科会に於いては教材の作成を行なう。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ALNIL: Form 1~4 13才~17才。  
ALNIL: Form 5, 6: 18才~19才。同僚の教師は学士又はテイワロマ資格

⑤ 現地で利用できる機材: 公立校には十分な実験設備、器具は十分あり。私立校は公立より設備が劣る。

⑥ 第3国人等の配置状況: 1名、ドイツ、1名、フィリピン、2名、フィリピン、1名、フィリピン

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立直後、教育熱の高まりによる爆発的な生徒数の増加により、フィリピンの進学率を20%に引き上げる努力がなされた。急激な増加は教師の不足と教育内容の低下を招いた。従って、1970年代には外国人の教育現場への導入が、政府と民間の両方から奨励された。最近では積極的に教師不足を外国人にカバーしようとする姿勢が見られる。フィリピン国内の科学技術の発達した日本からの理科教科の派遣は国の教育の発展に大きく寄与するものと期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学(理学又は教育学部)。○教員免許。経験2年以上。○25才以上。

188

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2年 3月 14日

調査者氏名 筒井 昇

273-900 <sup>33</sup>

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Science Education	新規	(男) 人	2年12月	
	(日本語) 理科教科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 15人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: 日本名称( )  
所在地: 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: セカンド・ステップは全国で公私立合わせ 288校。小学校の進学率 3~8%、レベル上げて教える学校と、レベルアップの学校がある。(レベルアップの60校)、生徒数は1校約400人程度。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 各教科の教師

② 技術の範囲: 日本の中学校、高校の内容を教える技術。

③ 業務の形態: 通常担当教科1科目のみを週24時間(限)教える。1日限は40分。二学期制であり、学期毎の試験問題の作成と成績付けを行なう。又、学期間の休みにふりかえり学校に出勤し、次の学期の準備をする義務がある。又、業務所(TOCV)で行なう授業研修訓練、語学訓練に出席し、理科教科教師分科会にも出席して教材の作成を行なう。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ALVIL: Form 1~4 13才~17才。  
ALVIL: Form 5, 6: 18才~19才。同僚の教師は学士又は同等の資格

⑤ 現地で利用できる機材: 公立校に於ける実験設備。結果は1ヶ月程度。私立校は公立より平均的である。

⑥ 第3国人等の配置状況: 何れも、ドイツ、ルクセンブルグ、スウェーデン、フランス

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立直後、教育熱の高まりと爆発的な進学率の増加により、セカンド・ステップの進学率を20%に引き上げる努力が必要である。急激な増加は教師の不足と教育内容の低下を招き、これを防ぐため、従って1972年には外国人の教育現場への導入は、政府見直し、最近では積極的に教師不足を外国人でカバーしようとする姿勢が見られる。このため、国内の中・科学技術の発達した日本からの理科教科教師の派遣は国の教育の発展に大きく寄与するとの期待が強い。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒(理学部教育学部) ○教員免許 経験2年以上、○25才以上。

189

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 2 年 3 月 14 日

調査者氏名 筒井 昇

273-900 <sup>35</sup>

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Science Education	新規	(男) 人	2年12月	
	(日本語) 理科教科教師	交替	(女) 人 (男女不問) 15人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education  
(日本語): 教育省

② 隊員勤務先名称: フィリピン、ミンダナオ、ダバオ、カダラワン、タラサック、日本語名称( )  
所在地: 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: セカグワ、マニラは全国で公立私立合わせ 288校。小学校2年の進学率10%、3~8%、私立校に教える学校と、ALVILの学校がある。(ALVIL校約60校)、生徒数は1校約400人程度。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 各教科の教師

② 技術の範囲: 日本の中学校、高校の内容を教える技術。

③ 業務の形態: 通常担当教科1科目のみを週24時間(限)教える。1日限は40分。二学期制であり、学期毎の試験問題の作成と成績付けを行なう。又、学期間の休みにフィリピン各県に出向き、次の学期の準備をする義務がある。又、事務所(JOCV)で行なう授業研修訓練、語学訓練に出席し、理科教科教師分科会にフィリピン各県での教材作成を行なう。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ALVIL: Form 1~4 13才~17才、ALVIL: Form 5, 6: 18才~19才。同僚の教師は学士又はフィリピンで資格

⑤ 現地で利用できる機材: 公立校に於ける実験設備、器具はほぼ十分である。私立校は公立より設備が劣る。

⑥ 第3国人等の配置状況: イギリス、ドイツ、フランス、アメリカ、オーストラリア、日本

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立直後、教育熱の高まりと爆発的な生徒増加により、セカグワの進学率を20%に引き上げる勢いがある。急激な増加は教師の不足と教育内容の低下を招き、このため、従って1970年代には外国人の教育現場への導入は、政府急務であり、最近では積極的に教師不足を外国人でカバーしようとする姿勢が見えつつある。このため、従来の中・科学技術の発展した日本からの理科教科教師の派遣は国の教育の発展に大いに寄与するものと期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒(理学又は教育学部) ○教員免許、経験2年以上、○25才以上。

※ 事務局記入

190



# 青年海外協力隊受入希望調査表

記入 平成 3年 2月13日

調査者氏名 洲崎 毅浩

28391015

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア共和国	Science Teacher 理数科教師	新規 <u>交替</u>	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	1991年12月	
(1) 配属先 <span style="float: right;">↳(前任者 63/3 野田久尚)</span>					
①配属先名称(現地公用語) : Ministry of General Education, Youth and Sports. (日本語) : 一般教育青年スポーツ省					
②隊員勤務先名称 : Serenje Technical Secondary School 日本語名称(セレンジェ技術中高等学校) 所在地 : P/Bag 2, Serenje. 主要都市(ルサカ)から420キロ					
③事業規模及び内容 : 日本の中学・高校に相当する寄宿制の男子校。対象生徒はGrade 8から12までの5学年で約1400名。学校側スタッフは教員を含めて36名。理科系の科目と技術科目に教育の重点が置かれており、中部州でも進学校の部類に属する。理科担当教員は5名。					
④設備概要(写真添付が望ましい) : 一般教室17。一般科学・物理・生物・化学・農業科学の各実験室。木工・金工作業室・食堂・寮・管理棟・グラウンド及びコート(サッカー・バレーボール・バスケットボール)。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : Science Teacher (理数科教師)					
②技術の範囲 : 物理及び化学の教科指導と実験技術を、公用語である英語を使って教える。対象生徒のレベルは日本の中学校・高等学校程度である。					
③業務の形態 : 隊員の英語能力及びその時の学校教員の配置状況に応じて、日本の中学・高校生レベルの生徒の内の2~3学年を担当する。物理と化学(実験指導を含む)の授業を教える他、シラバスに沿って校内の年間授業計画の作成、その指導内容の選定も行ない、指導書の作成も担当する。スポーツ行事も多く、中でもJOCVが主催するJOCVカップの開催などにも中心的な役割を果たし、担当教科の枠に留まることなく、広い分野での青少年育成活動に協力していくこととなる。場合によってはクラス担当や科学クラブ(JETS)の指導助言も担当する。					
④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象生徒の年齢は13才から24才程度である。技術移転のための特別なカウンターパートは居ないが、授業計画策定を通じ同僚教師への影響力は比較的大きい。					
⑤現地で利用できる機材 : 教室には黒板・机・椅子があるが、照明はない。実験室には最低限の器具が揃っており、演示実験は可能であるが生徒実験用器具は不足している。化学及び生物のビデオテープが数本あり、機材供与されたビデオセットによって授業で利用可能である。					
⑥第3国人等の配置状況 : ガーナ人教師4名。					
⑦使用する言語 : 英語(公用語) ・ ベンバ語(現地語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : ザンビア国全体についての傾向であるが、中高等学校における教師不足は深刻な問題となっている。比較的低賃金で雇用されている現地人教師は、待遇改善を求めてしばしばストライキを起こし、生徒への影響も大きい。セレンジェ中高等学校での教員充足率は常時8割以下であり、加えて教科書や器具類の不足により教育効果が上がらないのが実情である。そのような中で、特に高学年の担当者として隊員の協力活動が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) : <u>4年制大学卒</u> ・ <u>教室型の英語力</u> 武道を含むスポーツの指導能力があれば望ましい。					
192					
※事務局記入					

# 青年海外協力隊受入希望調査表

記入 平成 3年 1月 24日

調査者氏名 洲崎 毅浩

28391016

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア共和国	Science Teacher	新規	(男) 1人	1991年12月	
	理数科教師	交替	(女) 1人 (男女不問)		
(1) 配属先					
↳ (前任者 元/鈴木 悟)					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministry of General Education, Youth and Sports.					
(日本語) : 一般教育青年スポーツ省					
②隊員勤務先名称 : Kaoma Secondary School 日本語名称 (カオマ中高等学校)					
所在地 : P.O.Box 940098, Kaoma. 主要都市 (ルサカ) から 400 キロ					
③事業規模及び内容 : 1964年に設立された、地方においては大規模に属する共学の学校である。Grade 8・9で約700名、Grade 10・11・12で約800名。全部で27クラスあり、1クラスの平均は約55名である。理科・数学担当教師数は13名。(スタッフ総数47名)他の学校と同様、全寮制である。					
④設備概要 (写真添付が望ましい) : 教室数合計47。物理・化学・生物・農業科学用実験室5室。図書室1室。ダイニングホール (集会所) 1。寄宿舎等がある。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : Science Teacher (理数科教師)					
②技術の範囲 : 数学・物理・化学・生物の中から1ないし2教科を、公用語である英語を使って教える。対象生徒のレベルは日本の中学校・高等学校程度である。					
③業務の形態 : 数学・理科担当教師13名の内訳は、数学6名、化学5名、生物・物理2名であり、隊員は特に物理を教えることが求められる。基本的に、隊員の業務内容はシラバスに沿った授業進行と卒業試験の準備であり教師不足の学校にあって完全なマンパワーとして活動を行なう。また、スポーツ行事も多く、中でもJOCVが主催するJOCVカップの開催などにも中心的な役割を果たし、担当教科の枠に留まることなく、広い分野での青少年育成活動に協力していくこととなる。場合によってはクラス担当やクラブ指導等にも参画していく。					
④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象生徒の年齢は13才から24才程度である。技術移転のための特別なカウンターパートは居らず、生徒への教育を通じて人材育成をすることとなる。					
⑤現地で利用できる機材 : 教室には黒板・机・椅子があるが、照明はない。実験器具は一応揃っているものの、破損や紛失が多く、不足しているのが実情である。薬品類も充分ではない。					
⑥第3国人等の配置状況 : ガーナ人教師2名・ウガンダ人教師1名。					
⑦使用する言語 : 英語 (公用語) ・ ロジ語 (現地語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : ザンビア国全体についての傾向であるが、中高等学校における教師不足は深刻な問題となっている。比較的低賃金で雇用されている現地人教師は、待遇改善を求めてしばしばストライキを起こし、生徒への影響も大きい。人材育成の基礎的段階である中高等学校でのこうした現状を改善するためには何れ抜本的な改革が必要となろうが、当面、生きている教育現場としては教師隊員の受入れは死活問題ともなっており、また過去の教師隊員による創意工夫に溢れた協力活動も高い評価を受けてきている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) : ○4年制大学卒 ・ ○教室型の英語力					
武道を含むスポーツの指導能力があれば望ましい。					
193.					
※事務局記入					

# 青年海外協力隊受入希望調査表

記入 平成 3年 1月24日

調査者氏名 洲崎 毅浩

28391017

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア共和国	Science Teacher	新規	(男) 1人 (女) 1人	1991年12月	
	理数科教師	交替	(男女不問) 1人		
(1) 配属先 <span style="float: right;">↳ (前任者 元/2 佐藤寿江)</span>					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministry of General Education, Youth and Sports.					
(日本語) : 一般教育青年スポーツ省					
②隊員勤務先名称 : Chassa Secondary School <span style="float: right;">日本語名称 (チャサ中高等学校)</span>					
所在地 : P/Bag 2, Sinda. <span style="float: right;">主要都市 (ルサカ) から450キロ</span>					
③事業規模及び内容 : 1955年に設立されたミッション系の男子学校で、生徒数587名、教師・スタッフ数は24名。1986年より着任した校長の方針で、徹底した生産部門の強化が実施され、現在ではザンビアで最も優秀な生産部門を持つと新聞でも賞賛された(1989年)。					
④設備概要 (写真添付が望ましい) : 教室棟2・宿舎棟4・スタッフ棟1・実験室・図書館・バレーボールコート2面・サッカーコート1面・バスケットコート2面。生産部門は約5haのフィールドを持つ。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : Science Teacher (理数科教師)					
②技術の範囲 : 位置付けは完全な一教師であり、理科・数学担当教師の中でも特に化学の授業を持つことが求められている。クラス担任・クラブ活動の指導も場合によっては期待される。					
③業務の形態 : Grade 8 からGrade 12までの生徒に対する化学の授業を担当する。1コマ40分で、週に約20コマ程度の授業数。1クラスの生徒数は40名から60名で、主に実験室を利用しての授業形態となる。授業時間は通常午後1時までで、その後のクラブ活動や夜の予習・復習指導も大切な業務である。また、各種行事の企画や参加においても積極的な姿勢で臨み、化学の分野の枠に留まることなく、生徒の育成活動にあたることが望まれている。また、日本人に対する知識が乏しい田舎町であるため、業務以外のところでも住民と接し、互いの交流を深めていくことが重要である。					
④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 実験室アシスタントは居るが、ただの用務員的な性格が強く、正式な意味でのカウンターパートとはなり得ない。長い意味で、生徒が技術移転対象である。					
⑤現地で利用できる機材 : 実験室 (試薬は不足気味)。水道 : 電気は完備されている。ブンゼンガスバーナー等の利用も可能で、他校と比べて充実度が高い。黒板・机・椅子・室内照明も充分である。但し、チョークや紙等といった低コストの消耗品に不足が生じている。					
⑥第3国人等の配置状況 : ガーナ人教師1名。					
⑦使用する言語 : 英語 (公用語) ・ ニャンジャ語 (現地語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : ザンビア国全体についての傾向であるが、中高等学校における教師不足は深刻な問題となっている。比較的低賃金で雇用されている現地人教師は、待遇改善を求めてしばしばストライキを起こし、生徒への影響も大きい。こうした中で、教師の頻繁な異動や、教科指導に対する統一的な指針がないため、教科指導は十分な効果を上げておらず、また理科の授業のみならずクラブ活動の指導や生産部門を円滑に運営するためのアシスタント的な存在としても、隊員の活躍が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) : (教員免許 (中学一級・理科))					
教員経験2年以上。					
バスケットボール、或はサッカーが得意であれば望ましい。					
194					
※事務局記入					

# 青年海外協力隊受入希望調査表

記入 平成 3年 2月12日

調査者氏名 洲崎 毅浩

28391018

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア共和国	Science Teacher 理数科教師	新規 <u>交替</u>	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	1992年 4月	
(1) 配属先 <span style="float: right;">↳ (02/8 平野 茂)</span>					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministry of General Education, Youth and Sports					
(日本語) : 一般教育青年スポーツ省					
②隊員勤務先名称 : Mbala Secondary School 日本語名称 (ムバラ中高等学校)					
所在地 : P.O.Box 420300, Mbala. 主要都市 (カサマ) から 180キロ					
③事業規模及び内容 : 生徒数約1400名の、北部州では大規模に属す男女共学校。ジュニアクラスが約 600名、シニアクラスが約 800名。全体で女生徒数は 400名。教員数は 43名。					
④設備概要 (写真添付が望ましい) : 教室数は 23。化学・生物・物理・地質学・農業科学のそれぞれに実験室がある。その他、ワークショップが 1。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : Science Teacher (理数科教師)					
②技術の範囲 : 公用語の英語で、物理または化学の授業を教えることが求められている。更に、この 2 教科に留まらず、複数教科を教えられればなお望ましい。レベルは日本の高校程度である。					
③業務の形態 : 学校教師という完全なメンバーとして勤務する。1コマ 40分の授業を週に約 25コマから 30コマ担当するが、当該時期の他教師の配置状況によっては担当授業数も多少の変動がある。授業の無い土・日曜は基本的に休日であるが、スポーツ活動の指導等に積極的に参画することが求められており、また他の理数科教師隊員との連係により、JOCVカップの企画など、幅の広い青少年育成活動の中心的存在となることも期待されている。					
④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象者である生徒は、15才から 20才程度の小学校卒業生であり、日本の高校生に相当する。カウンターパートは居ない。					
⑤現地で利用できる機材 : 施設という面では、教室・実験室等が利用出来るが、設備的にはメンテナンスの状態が悪く、備えつけの実験器具等もほとんどが使用不可能である。					
⑥第3国人等の配置状況 : 数学と英語を担当するガーナ人教師が 3名居る。					
⑦使用する言語 : 英語 (公用語) ・ ベンバ語 (北部州現地語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : ザンビア国では比較的低賃金で教師が雇用されているため、より良い環境を求めて転職・離職する教師が後を絶たない。このため、一般に学校は常に教師不足の状態であり、かつまた在職している教師の質も高いとは言いがたいのが実情である。その中において隊員は、教師として人手不足を補うのみならず、その協力活動を通じて教育のあり方を他者にも示し、学校全体を活性化する役割をも果たすことが期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) : <u>理系大学卒</u> ・ <u>教室型の英語力</u> 教師経験があればなお望ましい。					
195					
※事務局記入					

# 青年海外協力隊受入希望調査表

記入 平成 3年 2月14日

調査者氏名 洲崎 毅浩

28391019

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア共和国	Science Teacher	新規	(男) 人 (女) 人	1991年12月	
	理数科教師	交替	(男女不問) 1 人		
(1) 配属先 → (前任者 02/1 金子房人)					
①配属先名称 (現地公用語) : Ministry of General Education, Youth and Sports.					
(日本語) : 一般教育青年スポーツ省					
②隊員勤務先名称 : Chizongwe Secondary School			日本語名称 (チゾンゲ中高等学校)		
所在地 : P.O.Box 510152, Chipata.			主要都市 (チバタ) から 5キロ		
③事業規模及び内容 : 1953年に設立された、Grade 10から12までの男子学生を対象とした寄宿制のシニア中等学校。生徒数990名、教員を含むスタッフ数40名。ザンビア国内では有数の進学校として知られている。					
④設備概要 (写真添付が望ましい) : 教室棟7、宿舍棟10、実験室、技術室、サッカーコート、バレーボールコート、集会場 (バトミントンコート) など。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : Science Teacher (理数科教師)					
②技術の範囲 : 数学・物理・化学・生物の中から1ないし2教科を、公用語である英語を使って教える。対象生徒のレベルは日本の高等学校程度であるが、化学については日本よりも若干専門的と言える。					
③業務の形態 : チゾンゲ中高等学校はザンビアでも有数の進学校であり、毎年多くの卒業生をザンビア大学へ進学させている (1990年で69名の実績)。ここでGrade 10・11・12の3学年の生徒に対し、数学・物理・化学生物の内の1～2科目を教えるが、教員数が不足気味であるため、隊員に期待される担当授業数は週に20コマから30コマ程度となる (1コマは40分)。また、担当教科の枠に留まることなく、広い分野での青少年育成活動に協力していくこととなる。場合によってはクラス担当やクラブ指導等にも参画していく。					
④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象生徒の年齢は16才から22才程度である。技術移転のための特別なカウンターパートは居らず、生徒への教育を通じて人材育成をすることとなる。					
⑤現地で利用できる機材 : 教室には黒板・机・椅子があるが、照明はない。実験器具は一応揃っているものの、破損や紛失が多く、不足しているのが実情である。特に物理については電気関係の機材が皆無であり、用意されている設備は一律に老朽化して使用に耐えない。					
⑥第3国人等の配置状況 : ベルギー人教師1名・イギリス人教師1名。					
⑦使用する言語 : 英語 (公用語) ・ ニャンジャ語 (現地語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : ザンビア国全体についての傾向であるが、中高等学校における教師不足は深刻な問題となっている。比較的低賃金で雇用されている現地人教師は、待遇改善を求めてしばしばストライキを起こし、生徒への影響も大きい。人材育成の基礎的段階である中高等学校でのこうした現状を改善するためには何れ抜本的な改革が必要となろうが、当面、生きている教育現場としては教師隊員の受入れは重要な問題となっており、また前任の教師隊員による創意工夫に溢れた協力活動も高い評価を受けている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) : ○4年制大学卒 ・ ○教室型の英語力。 自動二輪車免許があることが望ましい。					
196					
※事務局記入					

# 青年海外協力隊受入希望調査表

記入 平成 3年 3月11日

調査者氏名 洲崎 毅浩

28391020

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア共和国	Science Teacher 理数科教師	新規 <b>交替</b>	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	1991年12月	
(1) 配属先 <span style="float: right;">↳ (前任者 瀬戸 幹夫 元/2)</span>					
①配属先名称(現地公用語) : Ministry of General Education, Youth and Sports.					
(日本語) : 一般教育青年スポーツ省					
②隊員勤務先名称 : St. Francis Secondary School			日本語名称(聖フランシス中高等学校)		
所在地 : P.O.Box 49, Malole, Kasama.			主要都市(ルサカ)から900キロ		
③事業規模及び内容 : ザンビア全国に点在するミッション系の中高等学校の一つである。Grade 8から12までの男子生徒を対象とし、生徒総数は520名で小規模学校の部類に属す。教員を含めた学校側スタッフ総数は23名であるが、僻地であるため教員の定着度は悪く、教員不足に悩んでいる。生徒の9割が寄宿している。					
④設備概要(写真添付が望ましい) : クラス数13。職員室・印刷室・実験室・生徒宿舍・教会・食堂・サッカーコート1面・バスケットコート1面・バレーボールコート1面。					
(2) 隊員の業務内容					
①隊員の業務上の地位 : Science Teacher (理数科教師)					
②技術の範囲 : 位置付けは完全な一教師であり、メンバーとしての協力形態となる。日本の中学レベルの理科、及び高校レベルの生物・化学・物理の授業を担当する。また、可能ならばクラブ活動指導も行う。					
③業務の形態 : Grade 8からGrade 12までの生徒に対する理科・生物・化学・物理の授業の内、2~3科目を担当する。1クラスの生徒数は30名から40名で13クラス。1時限40分の授業を週に約30時限程受け持つことになる。教員数が少ないため、クラス担任・クラブ活動指導・寮監督・日直などの業務も他教員と分担して行なっていく必要があり、理数科分野の枠に留まることなく、生徒の育成活動に積極的に参画していくことが望まれている。					
④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象者はGrade 7を卒業した生徒達で、年齢は14才から18才。カウンターパートおらず、長い意味で生徒が技術移転対象であると言える。					
⑤現地で利用できる機材 : 実験室(試薬は不足気味)。水道・電気の状態は悪い。各教室には黒板・チョーク類は用意されている。その他、印刷機・ビデオセットの利用も可能であるが、停電あるいは紙類など消耗品の不足によって、活用度は高いとは言えない。					
⑥第3国人等の配置状況 : アメリカ人神父1名。イギリス人教師3名。					
⑦使用する言語 : 英語(公用語) ・ ベンバ語(現地語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : ザンビア国全体についての傾向であるが、中高等学校における教師不足は深刻な問題となっている。比較的低賃金で雇用されている現地人教師は、待遇改善を求めてしばしばストライキを起こし、生徒への影響も大きい。こうした中で、教師の頻繁な異動や、教科指導に対する統一的な指針がないため、教科指導は十分な効果を上げておらず、また理科の授業のみならずクラブ活動の指導や生産部門を円滑に運営するためのアシスタント的な存在としても、隊員の活躍が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) : <b>理系大卒</b> ・ 自動二輪車免許、バスケットボール、或はサッカーが得意であれば望ましい。					
197					
※事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成3年2月4日

調査者名 松田 智子  
渡辺 貞子

要請番号 (364-91016)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
ハイチ	(日本語) 理教科教師 (職種コード 692) (現地公用語) Profesor de Ciencias	新規 交替 2代目	男 人 女 人 不問 / 人	3年3次 絶対の場合 ○印で囲む

配属先概要	1) 勤務先名 文部省国立サン・ペドロ中高校 (現地公用語) Ministerio de Educación y Culto / Colegio Nacional de San Pedro
	2) 住所 Ciudad de San Pedro de Ycuamandiyú de Dpto. de San Pedro 主要都市 (アスンシオン) から 420 km 交通手段 (バス) で 7.5 時間
概要	3) 事業内容及び予算 6年制の中高校で12クラス 約350名の生徒数。2部制(午前・午後) 普通科コース。卒業と高校卒業資格を取得。予算は、学校内では校長が統轄し、予算獲得のための陳情を直接文部省と行なうが、施設維持費がやとの状態。教材の拡充のための予算は、担当協力隊員が支援経費から捻出している場合が多い。学校長中心に実験器具購入の計画は現在進行中ではある。
	1) 要請理由 (目的) 中高生に対しては、かなり高度と思われる指導要領のもと、机上学習、暗記中心の理科授業から、実験を折り返した、過程を重要視する授業へ改善のため、実験、演習型の授業が展開できる協力隊員が要請された。生徒への直接の指導及びカウンターパートのアドバイスを期待されている。
要請	2) 隊員の地位 (日本語) 理科教師 (現地公用語) Profesor de Ciencias
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 中高校の12クラスの理科指導を担当し、実験を盛り込んだ授業を展開する。2部制(午前部 7:00~12:00, 午後部 13:00~17:00)カウンターパートに演習型、実験中心の授業展開についてのアドバイスを要する。技術の範囲は、理科一般(日本:中高校程度)の知識、各種実験の装置の計画作製 ※夜間コースがある。現在 隊員は全日制授業を担当している。
概要	4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) 事務棟(校長室、教員室) 教室(7) 技術作業場(2) 家庭科室(2) 図書室、講堂、中庭 基礎的な実験器具、試薬は揃っている。(温度計、三脚、石綿付金網、コルク、フラスコ、他)
	5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) 1名、教員養成学校卒業。経験 15年、高校教員。女性 37歳。
要	6) 指導対象者の技術レベル、年齢 小学校卒以上(13~18歳)の男女生徒。
	7) 訓練すべき言語 (スペイン) 語
8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) 無 (協力隊員:音楽隊員1名)	

条件	学歴、経験、資格 (理科系大学卒業) (理科中高教員免許)
----	-------------------------------

生活	生活環境: 気候 (赤道直線) 乾季 月~ 月 雨季 月~ 月。気温 (2~40℃位) 任地の人口 (3人)・日用品: 価格 (高い・普通・安い)、品質 (良い・普通・悪い) ほぼ自給 物資 (豊富・普通・欠乏) セーター、シャツが必要。
----	---

198

① 募集資料用

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 33 年 2 月 7 日

調査者名 前園由美子

要請番号 (367-91019)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
ペルー	(日本語) 理数科教師 (職種コード 692)	新規 交替 代目	男 人	3年2次 絶対の場合 ○印で囲む
	(現地公用語) Profesor de Educacion en Ciencias		女 人 不問 1人	

配 属 先 概 要	1) 勤務先名 ラメリセ 教員養成校 (ペルー教育省) (現地公用語) Instituto Superior Pedagogico La Merced
	2) 住所 Calle Manuel Muñoz Najar 202 主要都市 (リマ) から 1020 km Arequipa - PERU 交通手段 (飛行機) で 1 時間
	3) 事業内容及び予算 教育省下の教員養成校 4月~12月 1過程で授業が行な われており、1月~3月は短期の長期講座が開催されている

要 請 概 要	1) 要請理由 (目的) 教育省下の教員養成校において各学校の理数科教師への 教授法のアドバイスを通し、指導法の改善 新しい理論の指導を行なう
	2) 隊員の地位 (日本語) 技術アドバイザー (現地公用語) Asesor Técnico
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 理数科教師との意見交換を通して 指導法の改善 教材の作製 新 しい理論の指導を行なう 理数学教育へのアドバイス 実験材料の研究
	4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) 実験室 基本的な実験器材 (試験管 顕微鏡等)

要 件	5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) 同学校の数学教師 4名 理科教師 4名 物理学教師 4名 各課長	6) 指導対象者の技術レベル、年齢 同課教師 約18年の指導経験有 約200名の学生対象
	7) 訓練すべき言語 (スペイン) 語	
	8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) 無	

条件	学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入)
生活	生活環境: 気候 ( 乾季 月~ 月 雨季 月~ 月 ) ・気温 ( 15~20 °C位 ) 任地の人口 (100万人) ・日用品: 価格 (高い・普通・安い)、品質 (良い・普通・悪い) 物資 (豊富・普通・欠乏)

199



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup> 2 年 8 月 14 日

調査者氏名

大野 政義

41390125

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
P.N.G	(現地公用語) Science Teacher	新規	(男) 1 人	92年 / 月	
	(日本語) 理数科教師(02)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Gulf, Division of Education					
(日本語): ガルフ州教育局					
② 隊員勤務先名称: Kerema High School					
所在地: ガルフ州 ケレマ市					
日本語名称(ケレマ高校)					
主要都市(ボネラビラから 250 キロ)					
③ 事業規模及び内容:					
約 500 名の生徒が 7 年生から 10 年制まで学んでおり					
教師は約 15 名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 理数科教師					
② 技術の範囲:					
理科、数学の授業を週 14~20 時間担当					
③ 業務の形態:					
各科目への理数科指導 および学校運営、企画					
のアシスタンス					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 短期専(教育学部卒) 20才~25才					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
今回、当国初めての理数科教師派遣要請が、					
同州教育局より 2 名あり、これは、外人雇用教師の					
削減に伴い ボランティアによる教育水準の維持向上					
が望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○理数科教員免許					
実務経験 および 語学力					
※ 事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3 年 2 月 15 日  
調査者名 宮澤敏幸

要請番号 (413-91007, 91008)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
P.N.G	(日本語) 理数科教師 (職種コード692) (現地公用語) SCIENCE EDUCATION	新規 交替 代目	男 2 人 女 人 不問 人	3 年 2 次 絶対の場合 ○印で囲む

配属先概要

1) 勤務先名 ラバウル中学校 (東ニューブリテン州教育局)  
(現地公用語) RABAUL High School

2) 住所 主要都市 (ラバウル) から 0.2 km  
RABAUL EAST New Britain 交通手段 ( ) で 時間

3) 事業内容及び予算 教員 26 名 生徒 620 名 から なる 州立 中学校 で Grade 6  
卒業後、試験により入学し Grade 10 から 4 年 間 就学 する。年間 \$200.00  
(US\$ 230.00) の 授業料 と 州政府 からの 補助金 により 運営 されている。

要請概要

1) 要請理由 (目的) 当国独立以前よりオーストラリア人及びイギリス人等により  
(コントラクター) 運営 される 授業 が 進められてきたが、当校においては  
ローカライゼーションが 進み、校長を除いて ほとんどの 教員 が 現地人 である。  
しかしながら 数学、理科 については 専ら 的 に 弱く、教員 に対する 協力 要請 が 上がった。

2) 隊員の地位 (日本語) 教員 (現地公用語) TEACHER

3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲  
教科書はオーストラリアの教材を以て本校で編成され授業に使用されて  
いる。授業の年間計画はすべて学校側で編成されている。自ら計画する事は  
なく、授業内容としては、数学、理科、両教科の指導が求められており、  
Grade 7.2 の 基礎 課程 を 担当 する こと が 多い。最上級 Grade 10 の 数学 での  
小数の割算、計算、角度から本高並の幾何の等しい基礎的知識の修得が強く必要である。

4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと)  
指導用教科書 (生徒使用のものと同じ)

5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) 4 名 大学卒業 経験 2 年 ~ 6 年  
教員、24 才 ~ 29 才 (男子 3 名 女子 1 名)

6) 指導対象者の技術レベル、年齢 教員 経験 あり、また外国人コントラクターからの指導を  
受けることあり、比較的レベルは高い印象がある。

7) 訓練すべき言語 (英語) 語

8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置)  
イギリス人コントラクター (校長) 1 名

条件 学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入) 中学校 校長 高校 教員 資格 (数学、理科) 英語力 (英検準 2 級)

生活 生活環境: 気候 (熱帯) 乾季 6 月 ~ 8 月 雨季 9 月 ~ 5 月 ・ 気温 (平均 28 °C 位)  
任地の人口 15/400 ・ 日用品: 価格 (高い) 普通・安い、品質 (良い・普通・悪い)  
物資 (豊富・普通・欠乏)

201. 202

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 藤 3年 2月 6日

調査者氏名 小林育夫 C.C.

310 91006

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボリウビア	(現地公用語) Educación en Escuela Primaria (日本語) (693) 小学校教諭	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	平成 4年 1月 現地着	
(1) 配属先 <u>Ministerio de Educación y Cultura</u> 文部省					
① 配属先名称(現地公用語): <u>Dirección Departamental de Educación Urbana, Oruro</u> (日本語): <u>オリウ州教育局</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>Supervisoria de Educación Básica</u> 日本語名称(初等教育指導課) 所在地: <u>Sucre entre Solía Galvarro No.577, Oruro</u> 主要都市(オリウ市内)					
③ 事業規模及び内容: <u>オリウ州教育局はオリウ州全土の小・中・高校を管轄する。小・中・高校全部併せると80校になる。内、初等部全体の生徒総数は、32,767名 現在である。小学校は、5年制である。</u>					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>市内に、オリウ州教育局事務所がある。</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>初等教育指導主事 兼 小学校教師</u>					
② 技術の範囲: <u>初等教育全般(幼稚園教育の部分も含まれる)</u> <u>特に、音楽、図工、体育、算数、理科の知識。</u>					
③ 業務の形態: <u>勤務時間: 8:30~12:30, 14:00~17:30 (月~金)</u> ① 午前中は、市内にある2校のPTA校にて、小学生を対象に指導する。 午後は、局内の初等教育課にて、カウンターパートと共に、活動計画の立案及び他校への巡回指導等にあつる。(イナホ・オホ小学校(男子)、PTAバスター小学校(女子)) ② 学校の夏、冬休みの間、教師対象の短期講習会(1~2週間)を、年2回、カウンターパートと共に実施する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>対象者: 小学生、及び教師</u> <u>カウンターパート: アリシ・エ江二介(女性・60才)、コリナ・テ・アリアス(女性・55才)</u>					
⑤ 現地で利用できる機材: <u>黒板、運動場等、最小限度のもの。</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>なし。</u>					
⑦ 使用する言語: <u>西語</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>オリウ市は、ラパスから車で約3時間の場所に位置しながら、他国の援助がほとんど入らない標高3800mの鉱山の町である。同地で行った協力隊広報説明会により、今回、申請されたものである。教育面の充実を望む声が強くなり、その目的で、協力隊にかかる期待は大い。</u>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>大学教育学部卒以上、(小学校教諭免許取得者)</u> <u>(1年以上の現場経験者)</u>					
※ 事務局記入 <u>203</u>					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2 年 9 月 6 日

調査者氏名 塚川 満  
栗田 徹

364-90-128

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) EDUCACION DE ARTES INDUSTRIALES (日本語) 技術科教師 694	新規	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	1992年2月 03/2次	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE EDUCACION Y CULTO (日本語): 文部省					
② 隊員勤務先名称: Colegio Nacional de Enseñanza Media Diversificada 日本語名称(Don Rigoberto Caballero 国立中等総合学校) 所在地: シンシネス県 サンイグナシオ市 主要都市(アスンシオン)から220キロ					
③ 事業規模及び内容: 1979年中学校の部を開設し、その後高校の部を開設。中行は普通科。高校は人科、商業科、機械科、電気科の4科。生徒約1,000名、電気科60名。教員総数100名、電気科教師2名。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実習用校舍、研究室(2)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 電気科教師					
② 技術の範囲: 日本の高校電気科における電子の実習指導(原子構造、〜PDA、I.C.)					
③ 業務の形態: 午前、午後、夜間の3部制。電気科は7:00~11:15, 13:30~18:30。電気科教師の実験助手として実習指導を担当。週6回(各4~5時間)中の実験を不定期に行う。 実習のための資料作り。セミ形式の個人指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: アスンシオン大学 26才女性 他: 電気科担当教師 23才男性					
⑤ 現地で利用できる機材: 計測器具 1セット完備。 100V調速分、電源装置 2台、オシロスコープ(2現像)1台、テスター 4台、素子類					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ス페인語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国文部省は米州開発銀行の融資により、職業教育の再編成見直しを行っており、地方の主な学校に農・工・商関連の学科を併設している。(現在工業科は5校) したがって実習指導力のある教師不足及び生徒の意欲不足(技術自身に対する就職願望)などが十分に運営されていない状況である。この中で上記の授業内容の向上を目指したいと考え、隊員の派遣を希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(高等学校・高等専門学校 電気科卒業以上) 高等学校電気科免許 文部省技術科 ※ 中学校の「技術科教師」に「電子」での採用が適切。 実務経験必要無。					
※ 事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

事務局記入欄

記入日 平成 3 年 2 月 / 日  
調査者名 倉又雅広

要請番号 (46-91005)

国名	職種名	区分	性別・人数	派遣希望時期
トンガ王国	(日本語) 技術科教師 (職種コード 694) (現地公用語) Industrial Arts	新規 交替 代目	男 1 人 女 人 不問 人	3 年 3 次 絶対の場合 ○印で囲む
配 属 先 概 要	1) 勤務先名 教育省 トンガ高校 (現地公用語) Ministry of Education Tonga High School			
	2) 住所 kolofou Nuku'alofa 主要都市 (ヌクアロファ) から 0 km 交通手段 ( ) で 時間			
	3) 事業内容及び予算 生徒数 約 800 名 職員数 約 35 名 国内 4 つの公立高校のうち 1 校			
要 請 概 要	1) 要請理由 (目的) トンガにおいて現在技術科教師が少なく、トンガ高校に おいても技術科を専門とする教師がおり、バノウ校に隊員が配属さ れており評価が高く、今回教育省より技術科教師の要請となった。			
	2) 隊員の地位 (日本語) 技術科教師 (現地公用語) Industrial Arts teacher			
	3) 期待される具体的業務内容及び求められる技術の範囲 トンガ人技術科教師への指針を示す本として正しい工具材料を 最大限生かす座学と実習をバランスよく展開することを期待される。 また、トンガ高校における機械等のメンテナンスも業務の中に含まれる。			
	4) 隊員が利用、又は取り扱う機材の機種名・型式、設備等 (写真添付のこと) 一般工具のみ			
要 件	5) カウンターパート (人数、学歴、経験、地位、年齢) なし		6) 指導対象者の技術レベル、年齢 中学生及び高校生	
	7) 訓練すべき言語 ( 英 ) 語			
8) 外国の援助状況 (含む専門家、ボランティアの配置) ニュージーランド人、マリック人				
条件	学歴、経験、資格 (受入に不可欠な条件のみ記入) 経 教職経験 3 年以上			
生活	生活環境: 気候 ( 乾季 月 ~ 月 雨季 月 ~ 月 ) ・気温 ( 20 ~ 30 °C 位 ) 任地の人口 ( 10 万 人 ) ・日用品: 価格 ( 高い ・ 普通 ・ 安い )、品質 ( 良い ・ 普通 ・ 悪い ) 物資 ( 豊富 ・ 普通 ・ 欠乏 )			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>昭和 年 / 月 22 日

91026

調査者氏名 瀧下良信

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 幼儿教育	新規	(男) 人	91年 7月 12	
	(日本語) 幼稚園教諭	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 柳州市科学技术委员会					
(日本語): 柳州市科学技术委员会					
② 隊員勤務先名称: 柳州市直屬机关幼儿园 日本語名称(市直屬機關幼稚園)					
所在地: 广西壮族自治区柳州市東台路61号 TEL 24426 主要都市(柳州市内)から 一 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同幼稚園は1950年に設立。政府機関で働く職員の子弟を預てあり。生徒数630名。職員数90名で規模は柳州市一である。クラス数は18あり。その内訳は小(3~4)クラス5、中(5~)クラス5、大(6~)クラス4、3歳以下クラス1、特別クラス1、6~7~2。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 一般教室(履修室付)18、遊戯室音楽室 教習室 英語室 運動場、医務室 など					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 同幼稚園の教諭					
② 技術の範囲: 音楽 体育 美術を中心とした一般幼稚園教育 児童心理学に関する知識					
③ 業務の形態: 同幼稚園では2名の教諭で1クラスを担当し、6教科(別添写真)を教えている。隊員は同僚教諭と自分のクラスを担当しながら、他、中国人教諭に付し、日本の指導法を紹介してゆく。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒については上記の通り、先生の平均年齢は30才前後。殆んどが初級校卒。経験5年以上で大学は半数。					
⑤ 現地で利用できる機材: ビデオ、オルガン、ビデオ、テレビ、ほか授業で使用する小教科書などを用意している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 中国語(普通話)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同幼稚園の教諭は専門の幼児教育を受けた人が少なく専門の知識に裏付けられた実践指導が不十分である。中国より進んでいる日本の幼児教育の理論面と、実践面の紹介を是非やってもらいたい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○短大学以上 経験3年以上 年齢25才以上が望ましい。					
※ 事務局記入					

206

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 3年 2月 5日  
調査者氏名 渡部佳彦

91-015

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名 ※
スリ・ランカ	(現地公用語) KINDERGARTEN EDUCATION	新規	(男) 人	3年12月	
	(日本語)		(女) 1人		
	695 幼稚園教諭	<del>変替</del>	(男女不問) 人		

**(1) 配属先**

① 配属先名称(現地公用語)：MINISTRY OF FOOD & COOPERATIVES

(日本語)：食糧生活協同組合省

② 隊員勤務先名称：SANASA (TCCSU KEGALLE)

日本語名称(サナサ互助会ケゴール)

所在地： KEGALLE

主要都市(コロンボ)から 80キロ

③ 事業規模及び内容：全国に27支部を持ち、各自が独立運営しているNGO

ケゴール地区では10出張所、33,000名の会員を持つ。事業用資金の低利貸付、青少年の職業訓練、女性の社会進出促進等地域開発に力を入れている

④ 設備概要(写真添付が望ましい)：ケゴール地区のサナサ所有の建物と住民有志提供の部屋等を使った幼稚園27カ所。総合教育センター1。

**(2) 隊員の業務内容**

① 隊員の業務上の地位：幼稚園教諭指導員

② 技術の範囲：幼稚園児教育の他、主として、幼稚園教諭を対象とし指導方法、運営、カリキュラムの作成を指導する

③ 業務の形態：

1) 27カ所の幼稚園の巡回指導を中心に、全国から定期的にサナサの幼稚園教諭が集まって行われるセミナーでの指導、助言をする

2) 青少年活動の隊員と巡回し、地域で母親に対する家庭での幼児教育方法を助言、指導する

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及年齢：対象者－サナサ加盟の幼稚園教諭、地域の母親  
カウンターパート－サナサ総裁の夫人。講習会等の講師を務めているが、専門的な知識にやや欠ける

⑤ 現地で利用できる機材：

⑥ 第3国人等の配置状況： なし

⑦ 使用する言語： シンハラ語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待：**

地域に密着したNGOの一つであり、幼稚園の運営も以前は各地域で独自に行われていたものをこの団体が組織し、指導のあり方、指導技術などを再教育している。地域の女性の活動の一つとして幼稚園教育を捉えており、隊員派遣による教育の充実のほか地域の女性活動の助けになるものと期待する

**(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと)：**

幼稚園教員免許

※ 事務局記入

207.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 <sup>平成</sup>~~昭和~~ 2年 8月 8日

調査者氏名 瀧下良信

01390116

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 化学教師	新規	(男) 人	'91年8月	
	(日本語) 理科教師	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): 朝阳市科学技术委员会  
(日本語): 朝阳市科学技术委员会
- ② 隊員勤務先名称: 朝阳市第八中学 日本語名称( 同 )  
所在地: 遼寧省朝陽市 主要都市(朝陽市内)から 一キロ
- ③ 事業規模及び内容: 同中学は1987年に設立された新設校である。3学年3277人の生徒数は1342名 職員数118名。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実験室(物理、化学)、音楽室、図書館、校舎、幼稚園も併設

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 同中学の化学教師
- ② 技術の範囲: 中学生レベルの化学教授
- ③ 業務の形態: 中学3年生を対象に化学授業を担当する。(使用教科書別添)  
担当時間数は、3時間/週 x 477人 程度を予定

※ 中国一般学生に対して理科教授を行なうことについては、先ず言葉の問題について検討する必要がある。事務局にて語学教師に相談の上、派遣の可否、及び派遣する場合の語学面での条件設定を決められることを望む。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 同中学の化学教師は3名(40代女性2名 30代男性1名) 大学卒
- ⑤ 現地で利用できる機材: 別添写真の通り、実験器具など揃っているといえる。

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: 中国語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 朝陽市は中国の10大貧困地区の一つと言われたが、近年国家の援助により学校施設など改善が進みつつある(まだまだ充分とは言えない)。施設と同様課題となっているのが教育内容の充実であるが、特に化学、物理などの教育人材は本人の実験経験が不足しているのが一つの弱点となっている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒以上、教師経験1年以上  
中国語の履習経験があること。

※ 事務局記入

208



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 2月 5日

調査者氏名 田辺 修  
大芝博明

28390014

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
カンビア	(現地公用語) Science teacher (日本語) 理科教師	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	年 月 3/2 次隊	
(1) 配属先 63/3 田辺 修					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of General Education Youth and Sport (日本語): 初等教育、青年スポーツ省 ペンバ中高等学校					
② 隊員勤務先名称: Pemba secondary school 日本語名称(ペンバセカンタリー-スクール) 所在地: P/Bag 1, Pemba 主要都市(432)から60キロ					
③ 事業規模及び内容: 政府系の中高等学校。グレード8~12(日本における 中学2年~高校3年)の計21クラス、生徒数約1100名の ホーディングスクール(寄宿学校)。男子校。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 平屋建ての校舎な上に寄宿舎、生徒用の台所、食堂、 運動場、農場、養豚場など。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 一般の理科教師					
② 技術の範囲: 中学校の理科一般な上に高校の物理、化学、生物を教育する技術、能力が求められる。					
③ 業務の形態: 週5日計41ピリオド(1ピリオド40分)のうち約30ピリオドの授業を受け持つことを主な業務とする。科目は物理、化学、生物のうちのどれか一つでよい。その他、クラブ活動としてスポーツ指導(バスケットボール、サッカー、空手など)や Japan Club および そりばんクラブの顧問、指導を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は日本における中学、高校程度の学力、年齢はさまざま。					
⑤ 現地で利用できる機材: チョーク、黒板などの一般教育機材。実験器具、試薬など一次品は少ないが、質量ともに不十分。					
⑥ 第3国人等の配置状況: アイルランド人、サイール人、ウガンタン、ガナ人教師各一名。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: カンビア国全体の問題であるセカンタリー-スクールの理数科教師不足を補う貴重な人材としての期待とともに、生徒たちに日本の文化、伝統を伝え、将来の発展への参考、一助となることを望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 理科系大学卒、ある程度の英語力、教育免許あれば好ましい、 珠算3級以上					
※ 事務局記入					

209